

海浜公園内陸上競技場改修工事

特 記 事 項		 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図  校図 	工事名称	縮 尺 A2: 1/NS A3: 1/NS	図面番号 A000 (原図:A2)
			一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第378328号 加藤 早紀	一級建築士 第360917号 前田 祐作	工事後名			海浜公園内陸上競技場改修工事		
							図面名称			表紙		

図 面 目 録											
図面番号	工事範囲	図 面 内 容	図面番号	工事範囲	図 面 内 容	図面番号	工事範囲	図 面 内 容	図面番号	工事範囲	図 面 内 容
A001	建築工事図	工事特記仕様書（新営）№.1	A046	建築工事図	【①管理棟】建具表№.1	A091	建築工事図	【⑦スタンド棟】 改修後 矩計図	S001	建築工事図	【共通】構造特記仕様書№.1
A002	〃	工事特記仕様書（新営）№.2	A047	〃	【①管理棟】建具表№.2	A092	〃	【⑦スタンド棟】 改修前 改修後 外部階段詳細図	S002	〃	【共通】構造特記仕様書№.2
A003	〃	工事特記仕様書（新営）№.3	A048	〃	【①管理棟】建具表№.3	A093	〃	【⑦スタンド棟】 改修前 1階平面詳細図№.1	S003	建築工事図	【共通】鉄筋コンクリート構造配筋標準図№.1
A004	〃	工事特記仕様書（新営）№.4	A049	〃	【①管理棟】E V 詳細図№.1	A094	〃	【⑦スタンド棟】 改修後 1階平面詳細図№.1	S004	〃	【共通】鉄筋コンクリート構造配筋標準図№.2
A005	〃	工事特記仕様書（新営）№.5	A050	〃	【①管理棟】E V 詳細図№.2	A095	〃	【⑦スタンド棟】 改修前 1階平面詳細図№.2	S005	〃	【共通】鉄筋コンクリート構造配筋標準図№.3
A006	〃	工事特記仕様書（新営）№.6	A051	〃	【①管理棟】E V 詳細図№.3	A096	〃	【⑦スタンド棟】 改修後 1階平面詳細図№.2	S006	〃	【共通】鉄筋コンクリート構造配筋標準図№.4
A007	〃	工事特記仕様書（新営）№.7	A052	〃	【①管理棟】E V 詳細図№.4	A097	〃	【⑦スタンド棟】 改修前 2階平面詳細図№.1	S007	〃	【共通】鉄筋コンクリート構造配筋標準図№.5
A008	〃	工事特記仕様書（新営）№.8	A053	〃	【①管理棟】各部詳細図№.1	A098	〃	【⑦スタンド棟】 改修後 2階平面詳細図№.1	S008	〃	【共通】鉄筋コンクリート構造配筋標準図№.6
A009	〃	工事特記仕様書（改修）№.1	A054	〃	【①管理棟】各部詳細図№.2	A099	〃	【⑦スタンド棟】 改修前 1階展開図№.1（器具庫1）	S009	〃	【共通】溶接規準図
A010	〃	工事特記仕様書（改修）№.2	A055	〃	【①管理棟】各部詳細図№.3	A100	〃	【⑦スタンド棟】 改修後 1階展開図№.2（多目的室）	S010	〃	【共通】鉄骨規準図
A011	〃	工事特記仕様書（改修）№.3	A056	〃	【①管理棟】家具詳細図	A101	〃	【⑦スタンド棟】 改修後 1階展開図№.3（多目的室）	S011	〃	【共通】露出柱脚認定工法標準図（参考図）
A012	〃	工事特記仕様書（改修）№.4	A057	〃	【①管理棟】防水平面図・防水詳細図	A102	〃	【⑦スタンド棟】 改修前 1階展開図№.4（湯沸室）	S012	〃	【共通】デッキプレート標準図（参考図）
A013	〃	工事特記仕様書（改修）№.5	A058	〃	—	A103	〃	【⑦スタンド棟】 改修後 1階展開図№.5（多目的室1）	S013	〃	【共通】地質調査位置図、地質調査報告書
A014	〃	工事特記仕様書（改修）№.6	A059	〃	—	A104	〃	【⑦スタンド棟】 改修前 1階展開図№.6（器具庫2）	S014	〃	【①管理棟】基礎・杭伏図、1階伏図
A015	〃	工事特記仕様書（改修）№.7	A060	〃	—	A105	〃	【⑦スタンド棟】 改修後 1階展開図№.7（多目的室2）	S015	〃	【①管理棟】2階伏図、R階伏図
A016	〃	—	A061	〃	—	A106	〃	【⑦スタンド棟】 改修前 1階展開図№.8（更衣室1・シャワー室）	S016	〃	【①管理棟】基礎詳細図
A017	〃	【共通】全体配置図、付近見取図	A062	〃	【③サッカーゴール等収納庫】平面図、屋根伏図、建具表	A107	〃	【⑦スタンド棟】 改修後 1階展開図№.9（更衣室1・シャワー室）	S017	〃	【①管理棟】基礎梁リスト、基礎小梁リスト
A018	〃	【共通】拡大配置図	A063	〃	【③サッカーゴール等収納庫】立面図、断面図	A108	〃	【⑦スタンド棟】 改修前 1階展開図№.10（更衣室2・シャワー室）	S018	〃	【①管理棟】柱リスト、大梁リスト
A019	〃	【共通】敷地求積図	A064	〃	【③サッカーゴール等収納庫】矩計図	A109	〃	【⑦スタンド棟】 改修後 1階展開図№.11（更衣室2・シャワー室）	S019	〃	【①管理棟】小梁リスト、壁リスト、床リスト
A020	〃	【共通】外部仕上表、内部仕上表№.1	A065	〃	【③サッカーゴール等収納庫】展開図、天井伏図	A110	〃	【⑦スタンド棟】 改修前 1階展開図№.12（1階廊下№.1）	S020	〃	【①管理棟】軸組図№.1
A021	〃	【共通】内部仕上表№.2	A066	〃	【③サッカーゴール等収納庫】平面詳細図	A111	〃	【⑦スタンド棟】 改修前 1階展開図№.13（1階廊下№.2）	S021	〃	【①管理棟】軸組図№.2
A022	〃	【共通】建物面積求積図、各室求積図・各室求積表	A067	〃	【④陸上器具庫】平面図、屋根伏図	A112	〃	【⑦スタンド棟】 改修後 1階展開図№.14（1階廊下№.1）	S022	〃	【①管理棟】架構図
A023	〃	【①管理棟】法規チェック図、法規チェックリスト	A068	〃	【④陸上器具庫】立面図、断面図	A113	〃	【⑦スタンド棟】 改修後 1階展開図№.15（1階廊下№.2）	S023	〃	【①管理棟】内部階段詳細図
A024	〃	【⑤写真判定棟】法規チェック図・法規チェックリスト	A069	〃	【④陸上器具庫】矩計図	A114	〃	【⑦スタンド棟】 改修前 改修後 1階天井伏図	S024	〃	【①管理棟】外部階段階段詳細図
A025	〃	【①管理棟】1階平面図、2階平面図	A070	〃	【④陸上器具庫】天井伏図、展開図	A115	〃	【⑦スタンド棟】建具符号図、建具表	S025	〃	【①管理棟】各部詳細図
A026	〃	【①管理棟】屋根伏図	A071	〃	【④陸上器具庫】平面詳細図	A116	〃	【⑦スタンド棟】撤去建具表№.1	S026	〃	—
A027	〃	【①管理棟】立面図	A072	〃	【⑤写真判定棟】1階・2階平面図、屋根伏図	A117	〃	【⑦スタンド棟】撤去建具表№.2	S027	〃	—
A028	〃	【①管理棟】断面図	A073	〃	【⑤写真判定棟】立面図、断面図	A118	〃	【⑦スタンド棟】新設建具表№.1	S028	〃	—
A029	〃	【①管理棟】矩計図	A074	〃	【⑤写真判定棟】矩計図、断面詳細図	A119	〃	【⑦スタンド棟】新設建具表№.2	S029	〃	【③サッカーゴール等収納庫】 基礎伏図、基礎梁リスト 床リスト
A030	〃	【①管理棟】内部階段詳細図	A075	〃	【⑤写真判定棟】階段詳細図	A120	〃	【⑦スタンド棟】新設建具表№.3	S030	〃	【③サッカーゴール等収納庫】伏図、部材リスト
A031	〃	【①管理棟】外部階段平面詳細図	A076	〃	【⑤写真判定棟】平面詳細図	A121	〃	【⑦スタンド棟】各部詳細図№.1	S031	〃	【③サッカーゴール等収納庫】軸組図№.1
A032	〃	【①管理棟】外部階段断面詳細図	A077	〃	【⑤写真判定棟】展開図№.1（1階倉庫）	A122	〃	【⑦スタンド棟】各部詳細図№.2	S032	〃	【③サッカーゴール等収納庫】軸組図№.2
A033	〃	【①管理棟】1階平面詳細図№.1	A078	〃	【⑤写真判定棟】 展開図№.2（写真判定室・記録室） 家具詳細図	A123	〃	【⑦スタンド棟】 改修前 立面図	S033	〃	【③サッカーゴール等収納庫】鉄骨詳細図
A034	〃	【①管理棟】1階平面詳細図№.2	A079	〃	【⑤写真判定棟】1階・2階天井伏図、各部詳細図	A124	〃	【共通】サイン詳細図№.1	S034	〃	【④陸上器具庫】基礎伏図、基礎梁リスト、床リスト
A035	〃	【①管理棟】2階平面詳細図№.1	A080	〃	【⑤写真判定棟】建具符号図、建具表	A125	〃	【共通】サイン詳細図№.2	S035	〃	【④陸上器具庫】伏図、部材リスト
A036	〃	【①管理棟】2階平面詳細図№.2	A081	〃	【⑥屋外トイレ棟】平面図、屋根伏図、立面図、断面図	A126	〃	【共通】サイン詳細図№.3	S036	〃	【④陸上器具庫】軸組図
A037	〃	【①管理棟】1階展開図№.1（男子トイレ、女子トイレ）	A082	〃	【⑥屋外トイレ棟】構造図				S037	〃	【④陸上器具庫】鉄骨詳細図
A038	〃	【①管理棟】 1階展開図№.2（多目的トイレ、 休憩スペース・エントランスホール）	A083	〃	【⑥屋外トイレ棟】設備図				S038	〃	【⑤写真判定棟】 基礎詳細図、基礎梁リスト 杭・基礎伏図、基礎梁伏図
A039	〃	【①管理棟】1階展開図№.3（風除室、事務室）	A084	〃	【⑦スタンド棟】建物面積求積図、各室求積図・各室求積表				S039	〃	【⑤写真判定棟】2階伏図、R階伏図、部材リスト
A040	〃	【①管理棟】1階展開図№.4（倉庫、休憩室）	A085	〃	【⑦スタンド棟】外部仕上表、内部仕上表				S040	〃	【⑤写真判定棟】軸組図
A041	〃	【①管理棟】2階展開図№.1（小会議室、収納庫）	A086	〃	【⑦スタンド棟】法規チェック図、法規チェックリスト				S041	〃	【⑤写真判定棟】鉄骨詳細図
A042	〃	【①管理棟】2階展開図№.2（大会議室）	A087	〃	【⑦スタンド棟】 改修前 改修後 1階平面図						
A043	〃	【①管理棟】2階展開図№.3（ホール）	A088	〃	【⑦スタンド棟】 改修前 改修後 2階平面図						
A044	〃	【①管理棟】1階天井伏図、2階天井伏図	A089	〃	【⑦スタンド棟】 改修前 改修後 立面図						
A045	〃	【①管理棟】建具符号図	A090	〃	【⑦スタンド棟】 改修前 矩計図						

特 記 事 項		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株 社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早紀	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	法適合確認	作図 加藤 早紀 校図 三橋 五百子	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事 図面名称 図面目録	縮 尺 A2:1/NS A3:1/NS	図面番号 A000 (原図:A2)

仮設工事

1. 監督員事務所
(2. 3. 1)

・設置する。
監督員事務所の規模（単位：㎡）

適用					
規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度

2. 監督員事務所の設備・備品
(2. 3. 1)

種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計
数量	組	台	個	個	個
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量	足	着	個	個	台
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話・FAX	インターネット	冷暖房機器
数量	個	個	台	台	台

監督員職員事務所の仕上げ

部 位 等	仕 上 げ
床	合板張り又はビニル床シート張り
内壁・天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り
屋根	溶融亜鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り

③仮設便所

④工事用水

⑤工事用電力

⑥足場

⑦交通誘導警備員

③土工事

3. 山留めの撤去
(3. 3. 3)

④地業工事

⑤試験杭及び試験掘

⑥支持層

⑦水平方向の位置ずれ

8. 杭の載荷試験

9. 地盤の載荷試験

⑩既製コンクリート杭

⑪杭工事特記仕様書による。

本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。
国土交通省告示第468号 「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」（平成28年3月4日）

受注者は、杭の施工期間中は、1 週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。
なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。

特記仕様書及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料（施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等）は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第3 1 条第4 項又は第5 項（第3 8 条においてこれらの規定を準用する場合を含む。）の規定による引渡しを受けた日から1 0 年とする。
また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。

⑪試験杭 位置、本数及び寸法 図示（図面番号：S014,S038）
⑪試験掘 位置、本数及び寸法 図示（図面番号： ）

⑪支持層の位置、土質 図示（図面番号：S013 ） ・（ ）

⑪水平方向の位置ずれ（150 ）mm以下

⑪試験方法 ・鉛直載荷 ・水平載荷 ・（ ）
⑪試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
⑪位置、本数 ・図示（図面番号： ） ⑪載荷荷重（ kN）
⑪報告書 ・提出部数 2部

⑪試験方法 ・平板載荷 ・（ ）
⑪試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
⑪位置 ・図示（図面番号： ） ⑪載荷荷重（ kN）
⑪報告書 ・提出部数 2部

⑪PHC杭
⑪A種 ⑪B種 ・C種
⑪SC杭
⑪PRC杭
⑪上記以外の建築基準法に基づく杭（参考表）

種別	杭径(mm)	杭長	継手数	セット数	長期設計支持力(kN/本)	備考

⑪先端形状 ・開放型 ・閉そく型
⑪施工方法
・セメントミルク工法
・オーガーの支持層への掘削深さ
・（ ）m ・図示（図面番号： ）
・杭の支持層への根入れ深さ
・（ ）m ・図示（図面番号： ）
・根固め液及び杭周固定液の管理試験
・標準仕様書[4. 3. 4(6) ㉑] ・（ ）
・特定埋込杭工法
・杭の根入れ深さ
・（ ）m ・図示（図面番号： ）
⑪継手 ・アーク溶接 ・無溶接継手（工法： ）
⑪杭頭の処理 ・行う ・行わない

11. 鋼杭地業
(4. 4. 3)
(4. 4. 4)
(4. 4. 5)
(4. 4. 6)
(4. 3. 5)
(4. 3. 8)
(7. 2. 5)

・鋼管杭 ・SKK400 ・SKK490 ・STK400
・H形鋼杭 ・SHK400 ・SHK490M
径 ・φ300 ・φ350 ・φ400 ・φ450 ・φ（267. 4）
長さ（17）m
⑪継手の工法 ・現場溶接 ・機械式継手
⑪溶接材料 ・標準仕様書[7. 2. 5] (1) (2) 以外（ ）
・特定埋込杭工法
・杭の根入れ深さ ・（200）m ・図示（図面番号： ）
⑪杭頭処理の方法 ・ガス切断 ・（ ）

12. 場所打ちコンクリート杭地業
(4. 5. 1)
(4. 5. 4)
(4. 5. 5)
(4. 5. 6)

⑪施工方法
・アースドリル工法
・リバース工法
・オールケーシング工法
・鋼管コンクリート杭工法
⑪掘削 ・行わない ・行う（ ）
⑪杭の根入れ深さ
・（ ）m ・図示（図面番号： ）
⑪孔壁の超音波測定 ・行う ・行わない
⑪帯筋の加工及び組立 ・図示（図面番号： ）
⑪鉄筋の最小かぶり厚さ（ ）mm
⑪鉄筋かごの補強
・図示（図面番号： ）
⑪継手 ・重ね継手 ・（ ）
⑪コンクリートの種別 ・A種 ・B種
⑪設計基準強度（ ）N/mm²
⑪セメントの種類 ・高炉セメントB種 ・（ ）
⑪スランプ（cm） ・18 ・（ ）
⑪構造体強度補正值（S） ・3 N/mm² ・（ ）

13. 地盤改良
・（ ）工法
・六価クロム溶出試験
・室内配合試験
・一軸圧縮試験

⑪砂及び砂利地業
(4. 6. 2)
(4. 6. 3)

⑪砂利
⑪再生クラッシャラン ・切込砂利 ・切込碎石 ・（ ）
⑪砂
・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂 ・（ ）
⑪施工範囲 ⑪図示（図面番号： S014他 ）
⑪厚さ（mm） ⑪60 ⑪（100）
⑪仕上がりレベルを計測し、記録すること。

⑪捨コンクリート地業
(4. 6. 4)

⑪厚さ（mm） ⑪50 ・（ ）
⑪施工範囲 ⑪図示（図面番号： S014他 ）
⑪仕上がりレベルを計測し、記録すること。

⑪床下防湿層
(4. 6. 2)
(4. 6. 5)

⑪施工範囲 ⑪図示（図面番号： S014他 ）
⑪ポリエチレンフィルム厚さ ⑪0. 15mm以上 ・（ ）
⑪防湿層の重ね幅、基礎梁へののみ込みは、250mm以上とする。

⑤鉄筋工事

①鉄筋の種類
(5. 2. 1)
(表5. 2. 1)

種類の記号	径	備 考
①SD295	①D16以下	
①SD345	①D19以上	

・建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けたもの

②溶接金網
(5. 2. 2)

③内法直径
(5. 3. 2)

④継手
(5. 3. 4)
(表5. 3. 2)
(表5. 3. 3)

	径	部 位
①重ね継手	D16以下	
①ガス圧接	D19以上	

⑤鉄筋のかぶり厚さ及び間隔
(5. 3. 5) (表5. 3. 6)

⑥各部配筋
(5. 3. 7)

⑦圧接完了後の試験
(5. 4. 10)

⑧機械式継手及び溶接継手
(5. 5. 3)
(5. 5. 5)
(5. 6. 3)
(5. 6. 5)

①鉄筋の形状、寸法
鉄線の径（mm） ・4 ・5 ①6 ・（ ）
寸法（mm） ①100×100 ①150×150 ・（ ）
90°未満の折曲げの内法直径 ①図示（図面番号： S003 ）

①主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ
・標準仕様書[5. 3. 4] (3) (7) ①図示（図面番号： S003 ）
①継手位置
・各部配筋参考図による ①図示（図面番号： S003 ）
①鉄筋定着
・標準仕様書[表5. 3. 4] ①図示（図面番号： S003 ）
・標準仕様書[図5. 3. 3] ①図示（図面番号： S003 ）

①鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ
①標準仕様書[表5. 3. 6] ・図示（図面番号： S003 ）

①図示（図面番号： S003～007,S014 ）

①抜取試験方法 ①超音波探傷試験 ・引張試験
①引張試験方法 ①標準仕様書[5. 4. 10] (4) (b) ・（ ）

①機械式継手 適用箇所（ ）
種類（ ） 性能（ ）
①施工完了後の継手部の試験（ ）
①不合格となった継手部への措置（ ）
①鉄筋相互のあき（ ）mm
①溶接継手 適用箇所（ ）
種類（ ） 性能（ ）
①施工完了後の継手部の試験（ ）
①不合格となった継手部への措置（ ）
①鉄筋相互のあき（ ）mm

特記事項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝

設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子

設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早紀

設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作

設計担当

法適合確認

作成 施 図 監 理
監 理 三 橋 五 百 子

工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事
図面名称 工事特記仕様書（新営）No. 2
縮 尺 A2:1/NS A3:1/NS
図面番号 A002 (原図:A2)

設計日

コンクリート工事

①コンクリートの使用骨材による種類及び強度

(6.2.1)

(6.2.2)

(6.2.4)

(6.10.1)

(6.10.2)

(6.10.3)

(6.11.1)

(6.11.3)

(表6.2.2)

(表6.10.1)

②コンクリートの種類

(6.2.1)

(表6.2.1)

③コンクリートの仕上り

(6.2.5)

(表6.2.4)

(表6.2.5)

④セメント

(6.3.1)

(表6.3.1)

⑤骨材

(6.3.1)

⑥コンクリートの材料

(6.3.1)

(6.3.1)

(表6.3.2)

⑦打継ぎ

(6.6.4)

8.養生

(6.7.2)

⑨型枠

(6.6.4)

(6.8.1)

(6.8.2)

(表6.8.1)

(6.8.4)

⑩寒中コンクリート

(6.11.1)

⑪暑中コンクリート

(6.12.2)

普通コンクリートの設計基準強度

設計基準強度 Fc	適用箇所	施工時期	スランブ
24 (N/mm ²)	基礎・外構躯体		15 (cm)
24 (N/mm ²)	躯体・デッキ上		18 (cm)
18 (N/mm ²)	土間		15 (cm)

軽量コンクリートの設計基準強度

設計基準強度 Fo	適用箇所	種類	気乾単位容積質量	スランブ
(N/mm ²)			t/m ³	(cm)

・常時土又は水に直接接する部分 図示 (図面番号:)

類別 Ⅰ類 Ⅱ類

・大臣認定品 図示 (図面番号:)

合板せき板を用いる場合の打直し仕上りの種類

・ A種 B種 C種

仕上りの平たんさ

・ a種 b種 c種

種類 普通ポルトランドセメント、混合セメントA種

()

高炉セメントB種又はフライアッシュセメントB種

・適用箇所 図示 (図面番号:)

アルカリシリカ反応性による区分

・ A

・ B

・特殊な骨材の使用

・フェロニッケルスラグ細骨材

・鋼スラグ細骨材

・電気炉酸化スラグ骨材

・再生骨材 H

混和材料 図示 (図面番号: S001)

混和剤の種類、使用方法、使用量

・標準仕様書 [6.3.1] (4) (a)、標準仕様書 [6.3.2] (4) (f)

()

混和材の種類、使用方法、使用量

・標準仕様書 [6.3.1] (4) (b)、標準仕様書 [6.3.2] (4) (f)

()

構造体強度補正值 (S) 標準仕様書[表6.3.2] ()

位置 標準仕様書 [6.6.4] (1) 図示 (図面番号:)

・普通エコセメント使用の場合の湿潤養生期間 () 日以上

材料 複合合板 (厚さ (mm) 12 ())

打増し厚さ 図示 (図面番号: S002)

誘発目地、打継ぎ目地、化粧目地の位置、形状及び寸法

・図示 (図面番号:)

・断熱材の兼用

・MCR工法用シート

スリーブの材種、規格等

・鋼管 硬質ポリ塩化ビニル管 熔融亜鉛めっき鋼板

・つば付き鋼管 図示 (図面番号:)

型枠存置期間及び取外し

・普通エコセメント使用の場合の最小存置期間 () 日

適用期間 (S02による)

・構造体強度補正值 (S) は積算温度を基に定める

構造体強度補正值 (S)

・ 6 N/mm² ()

12. マスコンクリート

(6.13.1)

(6.13.2)

(表6.13.1)

⑬無筋コンクリート

(6.14.1)

14. 流動化コンクリート

(6.15.1)

①施工管理技術者

(7.1.4)

②製作工場

(7.1.3)

③鋼材

(7.2.1)

(表7.2.1)

④高力ボルト

(7.2.2)

(7.3.2)

(7.4.2)

(7.4.7)

⑤普通ボルト

(7.2.3)

(表7.2.3)

(7.3.2)

⑥熔融亜鉛めっき高力ボルト

(7.3.2)

(7.4.2)

(7.12.5)

⑦アンカーボルト

(7.2.4)

(7.3.2)

(7.10.3)

(表7.10.1)

(表7.2.3)

適用箇所 図示 (図面番号:)

セメントの種類

・普通ポルトランドセメント

・中庸熱ポルトランドセメント

・低熱ポルトランドセメント

・高炉セメントB種

・フライアッシュセメントB種

・シリカセメント

スランブ

・ 15cm ()

混和剤の種類 標準仕様書 [6.13.2] (2) (7) ()

混和材の種類 標準仕様書 [6.13.2] (2) (4) ()

構造体強度補正值 (S) 標準仕様書 [表16.3.1] ()

適用箇所 標準仕様書 [6.14.1]

・ (7) (4) (4) (イ) (オ) (カ)

・上記以外の適用箇所 ()

設計基準強度 18 (N/mm²) (24) (N/mm²)

スランブ 15cm 18cm

適用箇所

・図示 (図面番号:)

配置する

(株) 日本鉄骨評価センター又は (株) 全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場

・ J R M H S

種類、形状及び寸法 図示 (図面番号:)

種類

・トルシア形高力ボルト (S10T)

・JIS形高力ボルト2種 (F10T)

・熔融亜鉛めっき高力ボルト1種 (F8T相当)

()

高力ボルトのねじの呼び

・図示 (図面番号: S002)

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

・図示 (図面番号: S002)

すべり試験の試験方法 ()

JIS形、ナット回転法かつボルト長がねじの呼びの5倍を超える場合

・回転量 ()°

ボルト及びナットの材料等、ボルトのねじの呼び

・図示 (図面番号: S002)

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

・図示 (図面番号: S002)

摩擦面の処理

・プラスト処理 (表面粗度 50 μmRz 以上)

・りん酸塩処理

すべり試験の試験方法 ()

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

・図示 (図面番号:)

種類

構造用 ABR400B (S030, S035, S039による)

建方用 SS400 ()

建方用アンカーボルトの保持及び埋込み

・ A種 B種

アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上りの程度

・標準仕様書 [表7.2.3]

・図示 (図面番号:)

構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状、寸法

・図示 (図面番号: S030, S035, S039)

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

・図示 (図面番号: S030, S035, S039)

⑧溶接材料

(7.2.5)

⑨ターンバックル

(7.2.6)

⑩デッキプレート

(7.2.7)

(7.7.8)

11. スタッド

(7.2.8)

⑫柱底均しモルタル

(7.2.9)

(7.10.3)

(表7.10.2)

13. 材料試験等

(7.2.10)

14. ねじの孔径

(7.3.8)

⑮仮組

(7.3.10)

⑯溶接作業における技能資格者

(7.6.3)

⑰溶接部の開先

(7.6.4)

⑱溶接施工

(7.6.7)

⑲溶接部の試験

(7.6.12)

⑳錆止め塗装

(7.8.2)

(7.8.4)

材料

・標準仕様書 [7.2.5] (1) (2) 以外の溶接材料 ()

種類及びねじの呼び等

・図示 (図面番号: S02)

建築用ターンバックル胴

・割枠式 ()

建築用ターンバックルボルト

・羽子板ボルト ()

材質、形状及び寸法 図示 (図面番号: S012)

溶接方法 図示 (図面番号: S012)

種類等 図示 (図面番号:)

柱底均しモルタルの工法、厚み

・ A種 (30) mm

・ B種 () mm

無収縮モルタルの材料及び調合

・標準仕様書 [7.2.9] (2) ()

板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験

・JIS G 0901により行う

普通ボルトの孔径 (母屋又は胴縁の取付け)

・ねじの呼び径±1.0mm ()

行わない 行う

仮組を行う範囲 図示 (図面番号:)

溶接作業の技量付加試験

・行わない 行う

開先の形状

・図示 (図面番号: S009)

鋼製エンドタブの切除

・適用及び切断範囲 図示 (図面番号: S002)

切断面の仕上げ

・標準仕様書 [7.6.7(1) (h) (b)] 図示 (図面番号:)

鋼製エンドタブに代わるその他の工法

鋼製エンドタブに代わるその他の工法については、代替エンドタブ (セラミックタブ又はフラックスタブ) を用いたものとし、工法の採用にあたっては、以下の項目の両方を満足することを条件とし、監督員の承諾を受けること。

1. 相当数の代替エンドタブによる溶接を行ったことがある工場の製作であること。

2. 製作工場がJ、R、Mグレードの場合は、溶接技能者がNP0法人日本エンドタブ協会による固形タブに係るエンドタブ施工講習終了者 (溶接技能者・A級以上)、又はAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とする。また、製作工場がH、Sグレードの場合は溶接技能者がAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とする。

板厚が異なる場合の突合せ継手溶接部

・低応力高サイクル疲労を受ける部位 図示 (図面番号:)

スカラップの形状 図示 (図面番号: S002)

試験の種類

溶接部の外観試験方法 (目視試験)

超音波探傷試験 ()

溶接区分 A00L (%) 検査水準 備考

現場溶接

全数試験

工場溶接

2.5 4.0 6

耐火被覆材の接着する面への塗装

塗装範囲 図示 (図面番号: S002)

種別

・標準仕様書 [18.3.2]、[表18.3.1] (A) 種

・標準仕様書 [18.3.2]、[表18.3.2] () 種

21. 耐火被覆

(7.9.2)

(7.9.3)

22. 軽量形鋼

(7.11.2)

耐火被覆材の接着する面以外への塗装

塗装範囲 図示 (図面番号:)

鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面 (鉄骨に溶接されたものに限る)

・標準仕様書 [18.3.2]、[表18.3.1] () 種

部位	種類	材料	工法	耐火性能
柱・梁	耐火被覆	ロックウール	吹付け	60分耐火

接合部 (ボルト接合の場合)

・普通ボルト接合 ()

種類

・空洞ブロック16

・図示 (図面番号:)

正味厚さ、モジュール呼び寸法

・図示 (図面番号:)

各部の配筋

・図示 (図面番号:)

目地仕上げ

・押し目地

・化粧目地

モルタルの調合

・標準仕様書 [8.2.3] ()

モルタル又はコンクリートの充填範囲 図示 (図面番号:)

ブロックの種類

・標準仕様書 [表8.3.1]

ブロック帳壁及び塀

・図示 (図面番号:)

正味厚さ、モジュール呼び寸法、ブロックの厚さ

・図示 (図面番号: A033, A053)

モルタルの調合

・標準仕様書 [8.2.3] ()

化粧

・有り

・無し

塀の厚さ H≤2.0m

・ 120mm ()

H>2.0m

・ 150mm ()

各部の配筋

・図示 (図面番号:)

モルタル又はコンクリートの充填範囲

・図示 (図面番号:)

区分	単位 荷重 (N/mm ²)	呼び寸法			構法	耐火性能
		厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)		
・外壁パネル	()	100 (120以上)	()	()	・ A種 ・ B種	・ (1) 時間 ・ 無し
・間仕切壁パネル	()	100 ()	()	()	・ C種 ・ E種 ・ D種	・ () 時間 ・ 無し
・屋根パネル	()	100 ()	()	()	・ F種	・ () 時間 ・ 無し
・床パネル	()	100 120 150	()	()	・ F種	・ () 時間 ・ 無し

パネル幅を300mm以下とする部分

・適用あり

外壁、屋根及び床パネル構法

風圧力に対応した工法

・適用あり

パネル短編小口相互の伸縮目地幅 (mm)

(20)

出隅、入隅等の取合い部の伸縮目地幅 (mm)

(20)

伸縮目地への耐火目地材の充填

・適用する (材料: ロックウール)

種類	表面形状及び 原料区分	板厚 (mm)	働き幅 (mm)	工法
・外壁パネル	・フラットパネル ・デザインパネル ・タイルベースパネル	()	()	・ A種 ・ B種
・間仕切壁パネル	・フラットパネル ・デザインパネル ・タイルベースパネル	()	()	・ B種 ・ C種

パネル幅を300mm以下とする部分

・適用あり

パネル相互の目地幅 (mm)

・長辺 8以上、短辺 15以上 ()

出隅、入隅の接合部の伸縮調整目地幅 (mm)

15 ()

目地及び隙間の処理 ()

外壁パネル構法

風圧力に対応した工法

・適用あり

間仕切壁パネル構法

パネルに欠き込みを行う場合

・パネル開口の限度 図示 (図面番号:)

⑧コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板

1. 補強コンクリートブロック造

(8.2.2)

(8.2.3)

(8.2.5)

(8.2.7)

(8.2.8)

(表8.2.1)

②コンクリートブロック帳壁及び塀

(8.3.2)

(8.3.3)

(8.3.4)

(8.3.7)

(表8.3.1)

3. ALCパネル

(8.4.2)

(8.4.3)

(8.4.4)

(表8.4.2)

(8.4.5)

(表8.4.3)

4. 押出成形セメント板

(8.5.2)

(8.5.3)

(8.5.4)

(表8.5.1)

(8.5.5)

(表8.5.2)

特記事項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

前野建築設計

管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設計者

一級建築士 第320204号 前野 将輝

設計担当

一級建築士 第307846号 三橋 五百子

設計担当

一級建築士 第378328号 加藤 早紀

設計担当

一級建築士 第360917号 前田 祐作

設計担当

法適合確認

作成

施図

監図

検図

三橋

工事名称

海浜公園内陸上競技場改修工事

図面名称

工事特記仕様書 (新営) No. 3

縮尺

A2:1/NS
A3:1/NS

図面番号

A003 (原図: A2)

21	排水工事	3. 地業の材料 (21. 2. 1)	砂 ・ 山砂 ・ 川砂 ・ 砕砂 ・ () 砂利 ・ 再生クラッシャーラン ・ 切込砂利 ・ 切込砕石 試験 ・ 砂の粒度試験	5. カラー舗装 (22. 6. 2) (22. 6. 3) (22. 6. 4) (表22. 6. 1)	種類 ・ 加熱系 構成及び厚さ () 結合材 ・ アスファルト ・ 石油樹脂系 (顔料の添加量:) 添加材 ・ 着色骨材 ・ 自然石 ・ 常温系 工法 ・ ニート工法 ・ 塗布工法 着色部下部 ・ アスファルト舗装 ・ コンクリート舗装 ニート工法及び塗布工法の配合その他 ・ 図示 (図面番号:) 試験 ・ アスファルト混合物等の抽出試験	6. 透水性アスファルト舗装 (22. 7. 2) (表22. 7. 1)	舗装構成 ・ 図示 (図面番号:) 平坦性 ・ 著しい不陸がないこと ・ 図示 (図面番号:)	6. 芝張り、吹付けは種及び地被類 (23. 4. 2) (23. 4. 3) (23. 4. 7)	種類 ・ コウライシバ ・ ノシバ ・ () 吹付けは種用種子 種類 ・ 標準仕様書 [23. 4. 2] (3) (7) 後段 ・ 図示 (図面番号:) 量 ・ () ・ 図示 (図面番号:) 地被類種類、芽立数、径、単位面積当たりの株数 ・ 図示 (図面番号:) 芝張り工法 平地 ・ 目地張り ・ べた張り ・ 図示 (図面番号:) 法面 ・ 目地張り ・ べた張り ・ 図示 (図面番号:) 芝張り、吹付けは種及び地被類の枯補償期間 ・ 引渡日から1年間 ・ ()	7. 屋上緑化 (23. 5. 2) (23. 5. 3) (23. 5. 4) (23. 5. 5)	植栽基盤及び材料 ・ 屋上緑化システム 土壌層の厚さ ・ 図示 (図面番号:) 排水層 ・ 軽質骨材 (層の厚さ:) ・ 板状成形品 植込み用土 ・ 改良土 ・ 人工軽量土 樹種・種類、寸法、株立数、刈込み ・ 図示 (図面番号:) 芝及び地被類の樹種並びに種類等 図示 (図面番号:) 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ・ 図示 (図面番号:) 風圧力に対応した工法 (建設省告示第1458号) ・ 図示 (図面番号:) 支柱 ・ 図示 (図面番号:) かん水装置 ・ 図示 (図面番号:) 新植樹木の枯補償期間 ・ 引渡日から1年間 ・ 図示 (図面番号:) 芝及び地被類の枯補償期間 ・ 引渡日から1年間 ・ 図示 (図面番号:)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		⑥ 街きよ緑石、側溝 (21. 3. 1) (21. 3. 2)	コンクリート縁石、側溝 種類、形状、寸法 ④ 図示 (図面番号: A054) 砂利地業 厚さ ⑤ 100mm ・ 図示 (図面番号:)	1. 路床 (22. 2. 2) (22. 2. 3) (表22. 2. 1) (22. 2. 4) (22. 2. 5)	路床の材料 (厚さは図示 (図面番号:)) 遮断層 ・ 川砂 ・ 海砂又は良質な山砂 凍上抑制層 ・ 切込み砂利 ・ 砂 ・ () フィルター層 ・ 砂 路床安定処理 ・ 行う 添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 () 号 ・ 消石灰 () 号 添加量 () kg/m ³ (目標CBR ・ 5以上 ・ ()) 盛土に用いる材料 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 C種の場合: 建設発生土受入量 () m ³ 片道の運搬距離 () km 試験 ・ 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 路床締固め度の試験 ・ 現場CBR試験	8. 砂利敷き (22. 9. 2) (表22. 9. 1)	・ 通路部 ・ A種 ・ B種 ・ () ・ 建物周囲 ・ A種 ・ B種 ・ ()		23	1. 植栽地の確認 (23. 1. 3)	試験 ・ 土壌の水素イオン濃度 (pH) 試験 ・ 電気伝導度類 (EC) の試験 ・ () の試験	2. 植栽基盤 (23. 2. 2) (23. 2. 3) (表23. 2. 1) (表23. 2. 2)	植栽基盤整備工法 樹木 ・ A種 ・ () 芝及び地被類 ・ B種 ・ () 有効土層 面積 ・ 図示 (図面番号:) 厚さ ・ 図示 (図面番号:) 排水設備 ・ 設ける (・ 暗きよ ・ 開きよ ・ 排水層 ・ 縦穴排水 ・ ()) 植込み用土 ・ 現場発生の良質土 ・ 客土 土壌改良材 種類、指定量 ・ ()	3. 植樹 (23. 3. 2) (23. 3. 3)	樹木の種類 ・ 図示 (図面番号:) 寸法 ・ 図示 (図面番号:) 株立数 ・ 図示 (図面番号:) 刈込み ・ あり ・ なし 支柱材 ・ 丸太 (防腐処理方法 ・ 加圧式防腐処理方法 ・ ()) ・ () 支柱形式 ・ 添え柱形 ・ 鳥居形 ・ ハツ掛け形 ・ 布掛け形 ・ ワイヤ掛け形 ・ 地下埋設形 幹巻き用材料 ・ 幹巻き用テープ ・ わら ・ こも	4. 新植樹木の枯損償 (23. 3. 4)	引渡しの日から ・ 1年 ・ ()	5. 移植樹木の枯損処理 (23. 3. 6)	引渡しの日から ・ 1年 ・ ()	24	外構工事	1. 旗竿 材種 ・ アルミニウム製 ・ () 形式 テーバー付き ・ ロープ式 ・ ハンドル式 脚部 ・ 埋込式 ・ ベース式 高さ ・ 5m ・ 6m ・ 7m	2. フェンス ・ ネットフェンス ・ 網材種 (・ ビニル被覆鉄線 ・ ()) ・ メッシュフェンス 網材種 (・ 樹脂皮膜 ・ 工場塗装 ・ ()) ・ 格子フェンス 網材種 (・ 樹脂皮膜 ・ 工場塗装 ・ ())																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
22	舗装工事	2. 路盤 (22. 3. 2) (表22. 3. 1) (22. 3. 3)	<table><tr><th>舗装の種類</th><th>路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部</th><th>路盤材料</th></tr><tr><td>・ アスファルト舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ 再生クラッシャーラン</td></tr><tr><td>・ カラー舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ クラッシャーラン</td></tr><tr><td>・ 透水性アスファルト舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>鉄鋼スラグ</td></tr><tr><td>・ インターロッキングブロック舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ クラッシャーラン ・ ()</td></tr><tr><td>・ ()</td><td>・ () ・ ()</td><td></td></tr></table>	舗装の種類	路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部	路盤材料	・ アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 再生クラッシャーラン	・ カラー舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン	・ 透水性アスファルト舗装	・ () ・ ()	鉄鋼スラグ	・ インターロッキングブロック舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン ・ ()	・ ()			・ () ・ ()		3. アスファルト舗装 (22. 4. 2)～ (22. 4. 6) (表22. 4. 1)～ (表22. 4. 6)	舗装の構成及び厚さ ・ A-5-15 ・ 図示 (図面番号:) ・ A-3-10 ・ () 平坦性 ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ 図示 (図面番号:) 再生アスファルトの種類 ・ 60～80 ・ 80～100 ・ 図示 (図面番号:) 表層の種類 ・ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13) ・ () 試験 ・ アスファルト混合材等の抽出試験	4. コンクリート舗装 (22. 5. 2)～ (22. 5. 6) (表22. 5. 1)	舗装の構成及び厚さ ・ 図示 (図面番号:) 平坦性 ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ 図示 (図面番号:) コンクリートの種類 ・ 普通コンクリート ・ 図示 (図面番号:) 設計基準強度等 ・ 標準仕様書 [表22. 5. 1] ・ () 早強セメント ・ 使用する 注入目地材料 ・ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ 目地 ・ 種類 () ・ 間隔 () ・ 標準仕様書 [表22. 5. 3] 目地の構造 ・ 標準仕様書 [図22. 5. 1] ・ 図示 (図面番号:)	23	1. 植栽地の確認 (23. 1. 3)	試験 ・ 土壌の水素イオン濃度 (pH) 試験 ・ 電気伝導度類 (EC) の試験 ・ () の試験	2. 植栽基盤 (23. 2. 2) (23. 2. 3) (表23. 2. 1) (表23. 2. 2)	植栽基盤整備工法 樹木 ・ A種 ・ () 芝及び地被類 ・ B種 ・ () 有効土層 面積 ・ 図示 (図面番号:) 厚さ ・ 図示 (図面番号:) 排水設備 ・ 設ける (・ 暗きよ ・ 開きよ ・ 排水層 ・ 縦穴排水 ・ ()) 植込み用土 ・ 現場発生の良質土 ・ 客土 土壌改良材 種類、指定量 ・ ()	3. 植樹 (23. 3. 2) (23. 3. 3)	樹木の種類 ・ 図示 (図面番号:) 寸法 ・ 図示 (図面番号:) 株立数 ・ 図示 (図面番号:) 刈込み ・ あり ・ なし 支柱材 ・ 丸太 (防腐処理方法 ・ 加圧式防腐処理方法 ・ ()) ・ () 支柱形式 ・ 添え柱形 ・ 鳥居形 ・ ハツ掛け形 ・ 布掛け形 ・ ワイヤ掛け形 ・ 地下埋設形 幹巻き用材料 ・ 幹巻き用テープ ・ わら ・ こも	4. 新植樹木の枯損償 (23. 3. 4)	引渡しの日から ・ 1年 ・ ()	5. 移植樹木の枯損処理 (23. 3. 6)	引渡しの日から ・ 1年 ・ ()	24	外構工事	1. 旗竿 材種 ・ アルミニウム製 ・ () 形式 テーバー付き ・ ロープ式 ・ ハンドル式 脚部 ・ 埋込式 ・ ベース式 高さ ・ 5m ・ 6m ・ 7m	2. フェンス ・ ネットフェンス ・ 網材種 (・ ビニル被覆鉄線 ・ ()) ・ メッシュフェンス 網材種 (・ 樹脂皮膜 ・ 工場塗装 ・ ()) ・ 格子フェンス 網材種 (・ 樹脂皮膜 ・ 工場塗装 ・ ())																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
舗装の種類	路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部	路盤材料																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・ アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 再生クラッシャーラン																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・ カラー舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・ 透水性アスファルト舗装	・ () ・ ()	鉄鋼スラグ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・ インターロッキングブロック舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン ・ ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・ ()	・ () ・ ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														

工事特記仕様書（改修）

- | | |
|-------------|--|
| Ⅰ. 工事名称 | 工事特記仕様書№ 1 による |
| Ⅱ. 工事概要 | |
| 1 工事場所 | 同上 |
| 2 敷地面積 | 同上 |
| 3 工事内容 | |
| 株名称 | スタンド棟 |
| 構造 | R C造 |
| 建築面積 | 337.58 m ² |
| 延べ面積 | 568.67 m ² |
| 工事項目 | 外部改修、内部改修、建具改修 |
| Ⅲ. 建築改修工事仕様 | |
| 1 共通仕様 | 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版（以下「改修標準仕様書」という。）」による。 |
| 2 特記仕様 | <p>(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。</p> <p>(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。</p> <p>(3) 項目欄に記載の（ ）内表示番号は改修仕様の該当項目等を示す。</p> |

①

②

③

適用基準等

施工条件

発生材の処理等
(1.3.12)

1) 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）
国土交通大臣官庁官庁営繕部監修（令和4年版）

2) 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）
国土交通大臣官庁官庁営繕部監修（令和4年版）

3) 建築物解体工事共通仕様書
国土交通大臣官庁官庁営繕部監修（令和4年版）

4) 建築工事標準詳細図
国土交通大臣官庁官庁営繕部監修（令和4年版）

施工方法及び検査に関する事項

※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。

※ 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。

※ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響のないよう努めること。

※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規 制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手すること。

※ 工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。

※ 場外退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。

※ 工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。

※ 大型車両通行時には誘導員を配置し、進行人及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。

※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。

※ 工事着手前には、現状把握のために、破損箇所等があれば、市監督員立会いのもと写真に記録しておくこと。

※ 工事期間中、工事に起因し、既存施設に破損等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに原状復帰するとともに市監督員に報告書を提出すること。

※ 設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修修復は本工事に含む。なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。

※ 高所等の施工箇所等で完成検査時に確認が困難な工事については、足場解体前に市検査課による随時検査(書類を含む)を受けること。また、当該検査の合格をもって足場解体を行うこと。

本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。

・分別解体等の方法

工程	作業の有無	分別解体等の方法
造成等	・ 有 ☒ 無 ☐	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
基礎・基礎ぐい	・ 有 ☒ 無 ☐	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
上部構造部分・外装	☒ 有 ☐ 無 ☐	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
屋根	・ 有 ☒ 無 ☐	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
建築設備・内装等	☒ 有 ☐ 無 ☐	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
その他 ()	・ 有 ☐ 無 ☒	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用

☒ 引き渡しを要するもの ☐ 無 ☐ ()

☒ 特別管理産業廃棄物 ☐ 有 (・ PCBを含む機器類 ・ 廃油、廃酸、廃アルカリ ・ ダイオキシン類
・ 水銀を含む特別管理産業廃棄物 ・ 廃水銀等)

☐ 水銀使用製品産業廃棄物 ☐ 有 (・ 蛍光灯ランプ ・ HIDランプ ・ ())

「水銀廃棄物ガイドライン」（第2版）（平成31年3月 環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課）に基づき適切に処理すること。

☒ 石綿含有成形板等解体時の留意点

1. 手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。

2. 可能であれば湿潤状態（散水）として作業を進めること。

3. 飛散されない様にすること。

4. 保護具及び作業着を着用すること。

5. 解体されたボード等は、蓋のある容器に入れること。

6. 事前には使用箇所や状況の調査を行い記録すること。

・ 現場において再利用を図るもの ()

☒ 再資源化を図るもの ☒ コンクリート塊
☐ アスファルトコンクリート塊
・ 建設発生木材
・ ()

引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し、監督員へ提出すること。

引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員にマニフェストA、B2、D票を提示すること。

- 建設副産物情報交換システムの利用

受注者は工事事前に「再生資源利用計画書」（建設資材の搬入がある場合）及び「再生資源利用促進計画書」（建設副産物の搬出がある場合）を作成し、施工計画書に含めて監督員へ写しを提出するとともに法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

また、工事完了後は「再生資源利用実施書」（建設資材の搬入があった場合）及び「再生資源利用促進実施書」（建設副産物の搬出があった場合）をすみやかに作成し、監督員へ写しを提出すること。

なお、各計画書及び実施書の作成等は、JACICが運営する「建設副産物情報交換システム」に登録のうえ、行うこと。

⑤ 三重県産業廃棄物税

本工事は産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。

なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。

⑥ 電気保安技術者 (1.3.3)

○ 配置する

⑦ 技能士 (1.7.2)

職種別に可能なものについては、積極的に活用すること。

⑧ 施工数量調査 (1.6.2)

調査範囲及び調査方法 ○ 工種別の特記による

9 調査のための破壊部分の補修 (1.5.3)

補修方法 ・ 図示（図面番号： ） ・ （ ）

⑩ 建築材料等

1) 本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。

2) 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。

⑪ 化学物質の濃度測定 (1.6.9)

測定対象化学物質（●で示したものとす。）

適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン
	学校、教育施設	●		●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●	●	
○	その他	●	●	●	●	●	

測定対象室及び測定箇所数 ○ 図示（図面番号： ） ・ （ ）

測定方法（○ バッシフ法 ・ アクティブ法）

測定時期 ・ （ ）

報告書提出部数 2部

⑫ 特別な材料の工法

改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

⑬ 騒音・振動の防止

低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。

⑭ 工事写真 (1.2.4)

営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官庁官庁営繕部（最新版））に従い撮影する。

提出部数 1部 用紙は上質紙とする。

なお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について（令和5年3月1日国営建技14号）」による。

⑮ 完成図等 (1.8.2) (1.8.3)

作成する（○ 完成図 ○ 保全に関する資料 ・ （ ））

完成図作図範囲（設計図を訂正）

完成図はC A Dにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。また、製本2部（原図サイズ）により提出すること。

⑯ 完成写真

○ デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。

（A4版用紙に1ページあたり3枚） 1部

箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多くなる場合には、監督員と協議すること。写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。

⑰ 設備工事との取合い

施工範囲

 - 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強
 - 図示した壁・天井の仕上り・下地材の切込み及び補強
 - 自動閉鎖装置取付け箇所切込み及び補強
 - 駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ

施工図

 - 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。

⑱ 既存部分等への処置 (1.3.13)

工事施工に際し、既存部分を汚損した場合は又は損傷した場合は、監督職員に報告するとともに承諾を受けて原状に準じて補修する。

⑲ 事故の発生時

工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故発生報告書を監督員の指示する期日までに、監督員に提出すること。

また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

⑳ 消防提出書類

1) 消火に係る消防用設備等設置届出書の作成

○ 本工事（○ 建築工事 ○ 電気設備工事 ○ 機械設備工事） ・ 別途工事

2) 防火対象物使用開始届出書

書類の作成（電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入）を行うこと。

㉑ 労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置

労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の請負者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。

㉒ 不正軽油の使用の禁止

1) 一般事項

工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。

2) 調査の協力

受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等と同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。

3) 是正措置

受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

㉓ 屋外広告物

屋外広告物を設置する場合は、「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告物の登録事業者であること。

- | <p>④</p> <p>石綿含有建材の調査
(1. 5. 1)</p> | <p>○ 石綿含有建材の事前調査
調査範囲 ○ 放修部分すべて ・ ()
貸与資料 ○ 既存の設計図書 ○ 石綿含有建材の調査報告書 ・ ()</p> <p>○ 分析調査
分析対象 アクテノライト、アモサイト、アンフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト</p> <p>分析方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名</th> <th>定性分析法
JIS A 1481-1
JIS A 1481-2</th> <th>定量分析法
JIS A 1481-3
JIS A 1481-4
JIS A 1481-5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>EP塗</td> <td>・ 箇所数 (1)</td> <td>・ 箇所数 ()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数 ()</td> <td>・ 箇所数 ()</td> </tr> </tbody> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル
採取箇所 ・ 図面(図面番号：) ・ ()</p> | 材料名 | 定性分析法
JIS A 1481-1
JIS A 1481-2 | 定量分析法
JIS A 1481-3
JIS A 1481-4
JIS A 1481-5 | EP塗 | ・ 箇所数 (1) | ・ 箇所数 () | | ・ 箇所数 () | ・ 箇所数 () | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---------------------------------------|---|---------|-------------|-----------|------------|-----------|-----------|---|---|---|-----|-------|-----|-----|------|--------|----|-----------------|---|---|---|---|-------|------------------------------|-----|------------|-------|---------|----|------------------------------|---|---|---|---|
| 材料名 | 定性分析法
JIS A 1481-1
JIS A 1481-2 | 定量分析法
JIS A 1481-3
JIS A 1481-4
JIS A 1481-5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| EP塗 | ・ 箇所数 (1) | ・ 箇所数 () | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・ 箇所数 () | ・ 箇所数 () | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>①</p> <p>騒音・粉じん等の対策
(2. 1. 3)</p> | <p>・ 防音パネル 設置範囲 ・ 図示(図面番号：)</p> <p>○ 防音シート 設置範囲 ・ 図示(図面番号：)</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>②</p> <p>足場

(2. 2. 1)
(表2. 2. 1)</p> | <p>設置する足場について、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月）」により、「働きやすい安心のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立てに関する基準」の2の(2)手すり据置き型方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。</p> <p>内部足場の種別（参考） ○ 脚立 ・ 棚足場 ・ その他 ()</p> <p>外部足場の種別（参考） ○ 手摺先行据置枠組本足場 ・ 移動足場 ・ 高所作業車
○ その他 ()</p> <p>外部足場設置範囲（参考） ○ 外部改修部 ・ 設備改修部 ・ 昇降用 ・ 転落防止用
○ 防護シート等による養生 ○ 適用する ・ 適用しない</p> <p>足場の組立て後、足場に關し十分な知識と経験を有する者により点検を行い記録を保存すること。
つり足場、張出し足場又は高さが10m以上の足場で、組立から解体までの期間が60日以上のものについては、組立て後市監督員立ち合いの下、当該足場の組立てを担当した者以外の者で足場の設置等の届出に係る「計画作成参照書」に必要な資格を有する者となお、「十分な知識と経験を有する者」とは、以下の者とす。</p> <p>1) 足場の組立て等作業主任者であって、労働安全衛生法第19条の2に基づく足場の組立て等作業主任者能力向上教育を受けた者</p> <p>2) 労働安全衛生法第81条に規定する労働安全コンサルタント（区分が土木又は建築である者）や厚生労働大臣の登録を受けた者が行う研修を修了した者等法第88条に基づく足場の設置等の届出に係る「計画作成参照書」に必要な資格を有する者</p> <p>3) 全国仮設安全事業協同組合が行う「仮設安全監理者資格取得講習」、建設業労働災害防止協会が行う「施工管理者等のための足場点検実務研修」を受けた者等足場の点検に必要な専門的知識の習得のために行う教育、研修又は講習を修了するなど、足場の安全点検について、上記1)又は2)に掲げる者と同等の知識・経験を有する者</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>③</p> <p>既存部分の養生
(2. 3. 1)</p> | <p>既存部分の養生 ・ 図示(図面番号：)</p> <p>既存ブラインド・カーテンの養生</p> <p>養生方法 ()</p> <p>保管場所 ・ 構内既存施設内</p> <p>固定された備品、机、ロッカーの移動</p> <p>○ 行う ・ 行わない</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>4</p> <p>仮設間仕切り
(2. 3. 2)
(表2. 3. 1)</p> | <p>屋内の仮設間仕切り ・ A種 ・ B種 ・ C種
合板 厚さ 9mm ・ ()
せこうボード 厚さ 9.5mm ・ ()
合板又は石膏ボードの塗装 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>仮設扉
設置箇所 ・ 図示(図面番号：)
仕様 ・ 合板張り木製扉 ・ ()</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>⑤</p> <p>監督員事務所
(2. 4. 1)</p> | <p>・ 構内建物内の一画を使用する。
・ 設置する ○ 設置しない</p> <p>監督員事務所の規模(単位:m)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用規模</th> <th>10程度</th> <th>20程度</th> <th>35程度</th> <th>65程度</th> <th>100程度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>監督員事務所の仕上げ</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>部位等</td> <td colspan="5">仕 上 げ</td> </tr> <tr> <td>床</td> <td colspan="5">合板張り又はビニル床シート張り</td> </tr> <tr> <td>内壁・天井</td> <td colspan="5">合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り</td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td colspan="5">装付融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り</td> </tr> </tbody> </table> | 適用規模 | 10程度 | 20程度 | 35程度 | 65程度 | 100程度 | 監督員事務所の仕上げ | | | | | | 部位等 | 仕 上 げ | | | | | 床 | 合板張り又はビニル床シート張り | | | | | 内壁・天井 | 合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り | | | | | 屋根 | 装付融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り | | | | |
| 適用規模 | 10程度 | 20程度 | 35程度 | 65程度 | 100程度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 監督員事務所の仕上げ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 部位等 | 仕 上 げ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 床 | 合板張り又はビニル床シート張り | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内壁・天井 | 合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 屋根 | 装付融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>6</p> <p>監督員事務所の設備・備品等
(2. 4. 1)(2)(7)</p> | <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>機・いす</th> <th>書棚</th> <th>黒板・白板</th> <th>掛時計</th> <th>温度計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数量</td> <td>組</td> <td>台</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>個</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>長靴</td> <td>雨合羽</td> <td>保護帽</td> <td>懐中電灯</td> <td>衣類ロッカー</td> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>足</td> <td>着</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>台</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>消火器</td> <td>掃除具</td> <td>受注者加入電話FAX</td> <td>冷暖房機器</td> <td>インターネット</td> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>台</td> <td>台</td> <td>台</td> </tr> </tbody> </table> | 種類 | 機・いす | 書棚 | 黒板・白板 | 掛時計 | 温度計 | 数量 | 組 | 台 | 個 | 個 | 個 | 種類 | 長靴 | 雨合羽 | 保護帽 | 懐中電灯 | 衣類ロッカー | 数量 | 足 | 着 | 個 | 個 | 台 | 種類 | 消火器 | 掃除具 | 受注者加入電話FAX | 冷暖房機器 | インターネット | 数量 | 個 | 個 | 台 | 台 | 台 |
| 種類 | 機・いす | 書棚 | 黒板・白板 | 掛時計 | 温度計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 数量 | 組 | 台 | 個 | 個 | 個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種類 | 長靴 | 雨合羽 | 保護帽 | 懐中電灯 | 衣類ロッカー | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 数量 | 足 | 着 | 個 | 個 | 台 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種類 | 消火器 | 掃除具 | 受注者加入電話FAX | 冷暖房機器 | インターネット | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 数量 | 個 | 個 | 台 | 台 | 台 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>⑦</p> <p>仮設便所</p> | <p>構内既存の施設
・ 利用できる ○ 利用できない</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>⑧</p> <p>工事用水</p> | <p>構内既存の施設
○ 利用できる (○ 有償 ・ 無償) ・ 利用できない</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>⑨</p> <p>工事用電力</p> | <p>構内既存の施設
○ 利用できる (○ 有償 ・ 無償) ・ 利用できない</p> <p>有償利用の場合において、本工事で新規受電又は既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>10</p> <p>交通誘導警備員</p> | <p>配置 ・ 図示(図面番号： A131)</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

[illegible]

③

防水改修工事

1

アスファルト防水

(3.3.3)
(表3.3.3)～
(表3.3.10)

工 法

種 別

施 工 箇 所

・ P1B
・ P1E
・ P2E

・ B-1
・ B-2
・ E-1
・ E-2

改質アスファルトルーフィングシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ()
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ()
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ()
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ()
(3.3.2) 断熱工法の断熱材 (P1B1, P2A1, POD1, M3D1, M4D1)
材質 ・ ()
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3 種 b A (スキンあり)
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 2 種 1 号
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 2 種 2 号
厚さ ・ ()
ルーフトレン回り及び立上り部周辺断熱材の張りじまい位置 ・ 図示 (図面番号:)
(3.3.3) (2) (4)
(3.3.3) (3) 脱気装置 (M3D, POD, POD1, M3D1, M4D1)
・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:)、材質 ())
・ 設けない
・ 仕上塗料 種類 () 使用量 ()
(3.3.5) 保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ・ 水下80mm以上 ・ ()
床タイル張り ・ 水下60mm以上 ・ ()
(表8.1.5) こて仕上げの場合のコンクリートの平たんさ ・ a 種 ・ b 種 ・ c 種
保護層 ・ 設ける ・ 設けない
屋上排水溝の適用 ・ 適用する
立上り保護 ・ 乾式保護材 ()
・ れんが (材種 ・ JIS R1250)
2 改質アスファルトシート防水
(3.4.2) 改質アスファルトシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ()
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ()
粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ()
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ()
断熱工法の断熱材 (M3AS1, M4AS1, POAS1)
材質、厚さ ()
図示 ・ ()
(3.4.3)
(表3.4.1)～
(表3.4.3) 工 法 種別 施工箇所 仕上塗料
・ M4AS ・ AS-T1 ・ AS-T2
・ AS-J2
脱気装置
・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:)、材質 ())
・ 設けない
ルーフィングシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)～(表3.5.3)による ・ ()
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)～(表3.5.3)による ・ ()
絶縁用シート ・ 発泡ポリエチレンシート
固定金具の材質及び寸法形状 ・ 図示 ()
断熱工法の断熱材 (POS1, SAS1, S3S1, M4S1)
材質、厚さ ()
・ 図示 ()
(3.5.3)
(表3.5.1)～
(表3.5.3) 工 法 種別 種別 仕上塗料
・ S3S ・ S-F1 (S1-F1)
・ S3S1 ・ S-F2 (S1-F2)
(3.5.3) 脱気装置
・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:)、材質 ())
・ 設けない
(3.5.4) 既存防水層下地がPCコンクリート部材の場合
目地処理 ・ 図示 (図面番号:)
増張り ・ 図示 (図面番号:)
機械式固定方法
風圧力に対応した工法 ・ 図示 (図面番号:)
保護層の施工 ・ 図示 (図面番号:)
(3.6.3)
(表3.6.1)
(3.6.3) (1) ④ 塗膜防水
工 法 種別 施工箇所 仕上塗料
・ POX ・ X-1 ・ X-2
・ L4X ・ X-1H ・ X-2H
(3.6.3) (2) 脱気装置
・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:)、材質 ())
・ 設けない
工 法 種別 施工箇所
・ PIY
・ P2Y
・ Y-2
保護層 ・ 図示 (図面番号:)
(3.6.3) (2) (M4AS, M4AS1, M4C, M4D1)
(L4X) ・ 行う ・ 行わない
・ 行う ・ 行わない
(3.2.6) (3) (4)
(3.2.6) (3) (4) ⑤ 既存防水層表面の仕上塗装の除去
(3.2.6) (3) (4)

⑥

シーリング

(3.7.2)
(表3.7.1)

材料

種類

材 種

施工箇所

・ SR-1
・ MS-2
・ PS-2
・ PU-2

シリコーン系
変成シリコーン系
ポリサルファイド系
ポリウレタン系

工 法
・ シーリング充填工法
・ シーリング再充填工法
・ 抵幅シーリング再充填工法
・ ブリッジ工法
(3.7.4)～(7)
(3.7.8) シーリング材の試験
・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 ・ 行わない
(3.8.2) 7 とい (3.8.2)
(表3.8.1)
(表3.8.2) 材 種 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー) ・ 配管用鋼管 (白管)
・ ()
とい受金物及び足金物
といの材種 形状 取付け間隔
工 法 ・ 図示 (図面番号:)
部材の種類
・ 押出し200形
・ 押出し250形
・ 押出し300形
・ 押出し350形
・ 板材折曲げ形 (本体幅 () mm、板厚 ・ 2.0mm ・ ())
(3.9.2) (3)
(表3.9.1) 固定金具の間隔 (mm)
固定方法 ・ ()
(3.9.3) (2) 表面処理 ・ ()
(3.9.2) (4)
(3.9.3) 工 法 既存笠木等の撤去 ・ 図示 (図面番号:)
下地補修の工法 ・ 図示 (図面番号:)
板材折曲げ形の笠木の取付方法 ・ 図示 (図面番号:)
笠木固定金具の工法 ・ 図示 (図面番号:)
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応したか固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。
工事区分 材料名 保証年数
防水工事 ・ 防水 ・ 10年 ・ 年
※防水施工業者、製作メーカー、受注者の連名により提出する。
⑧ アルミニウム製笠木
(3.9.2) (3)
(表3.9.1) ⑨ 保証書

④

外壁改修工事

①

施工数量調査

・ 行う ・ 行わない
調査範囲 ・ 全面 ・ ()
調査項目 ・ ひび割れ部 (・ 幅0.2mm未満 ・ 0.2mm以上～1.0mm以下 ・ 1.0mm以上超)
・ はがれ及びはく落部分
・ 浮き部
調査方法 ・ 打診、目視及びクラックスケール等 (・ 足場 ・ ゴンドラ)
報告書 2 部 (立面図等に記載、必要に応じて写真添付)

②

改修工法の種類

(4.1.4)
(4.1.5)

外壁

種類

改修工法

・ コンクリート打直し
仕上げ外壁

ひび割れ部

・ 樹脂注入工法
・ Uカットシール材充填工法
・ シール工法
欠損部
・ 充填工法
・ 樹脂注入工法
・ Uカットシール材充填工法
・ シール工法
欠損部
・ 充填工法
・ モルタル塗替え工法
・ アンカーピンニング
・ 部分エポキシ樹脂注入工法
・ 全面エポキシ樹脂注入工法
・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法
・ 注入口付アンカーピンニング
・ 部分エポキシ樹脂注入工法
・ 全面エポキシ樹脂注入工法
・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法
・ 充填工法
・ モルタル塗替え工法

・ モルタル塗り仕上げ外壁

ひび割れ部

・ 樹脂注入工法
・ タイル部分張替え工法
・ タイル張替え工法
欠損部
・ アンカーピンニング
・ 部分エポキシ樹脂注入工法
・ 全面エポキシ樹脂注入工法
・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法
・ 注入口付アンカーピンニング
・ 部分エポキシ樹脂注入工法
・ 全面エポキシ樹脂注入工法
・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法
・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法
・ タイル部分張替え工法
・ タイル張替え工法
・ 目地ひび割れ部改修工法
・ 伸縮調整目地改修工法
・ 薄付け仕上塗材塗り
・ 厚付け仕上塗材塗り
・ 複層仕上塗材塗り
・ 可とう形改修用仕上塗材塗り
・ マスチック塗材塗り
・ 外壁用塗膜防水材塗り

・ タイル張り仕上げ外壁

ひび割れ部

・ 樹脂注入工法
・ タイル部分張替え工法
・ タイル張替え工法
欠損部
・ アンカーピンニング
・ 部分エポキシ樹脂注入工法
・ 全面エポキシ樹脂注入工法
・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法
・ 注入口付アンカーピンニング
・ 部分エポキシ樹脂注入工法
・ 全面エポキシ樹脂注入工法
・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法
・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法
・ タイル部分張替え工法
・ タイル張替え工法
・ 目地ひび割れ部改修工法
・ 伸縮調整目地改修工法
・ 薄付け仕上塗材塗り
・ 厚付け仕上塗材塗り
・ 複層仕上塗材塗り
・ 可とう形改修用仕上塗材塗り
・ マスチック塗材塗り
・ 外壁用塗膜防水材塗り

・ 塗り仕上げ外壁

ひび割れ部

・ 樹脂注入工法
・ タイル部分張替え工法
・ タイル張替え工法
欠損部
・ アンカーピンニング
・ 部分エポキシ樹脂注入工法
・ 全面エポキシ樹脂注入工法
・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法
・ 注入口付アンカーピンニング
・ 部分エポキシ樹脂注入工法
・ 全面エポキシ樹脂注入工法
・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法
・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法
・ タイル部分張替え工法
・ タイル張替え工法
・ 目地ひび割れ部改修工法
・ 伸縮調整目地改修工法
・ 薄付け仕上塗材塗り
・ 厚付け仕上塗材塗り
・ 複層仕上塗材塗り
・ 可とう形改修用仕上塗材塗り
・ マスチック塗材塗り
・ 外壁用塗膜防水材塗り

③

改修工法等

(4.2.4) (1)
(4.2.4) (2)
(4.2.6)
(4.3.6)
(4.4.6)

・ 樹脂注入工法
種類 ・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
注入量 () 注入間隔 ()
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法
注入量 () 注入口間隔 ()
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法
注入量 () 注入口間隔 ()
材料 エポキシ樹脂JIS A6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)
コア抜取検査 ・ 行う ・ 行わない
・ 抜取り個数 ()
・ 抜取り部分補修方法 ()
(4.2.4) (2)
(4.2.6)
(4.3.7) ・ Uカットシール材充填工法
材料 ・ シーリング用材充填
(・ PU-1 ・ PU-2 ・ ())
・ 可とう性エポキシ樹脂充填
シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填
・ 行う ・ 行わない
(4.2.4) (3)
(4.2.7)
(4.3.8) ・ シール工法
材料 ・ バテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂
(4.2.4) (4)
(4.2.8)
(4.3.9) ・ 充填工法
材料 ・ エポキシ樹脂モルタル
・ ポリマーセメントモルタル
(4.3.5) (5)
(4.3.10) ・ モルタル塗替え工法
材料 ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料
・ 既製目地材の適用及び形状 ()
・ 仕上げ厚 ()
(4.3.5) (6)
(4.3.11) (4.4.9)
(図4.3.1) ・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
アンカーピンの本数 ・ 標準 ・ ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ()
(4.3.5) (6)
(4.3.12) (4.4.10)
(図4.3.2) ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ()
(4.3.5) (6)
(4.3.13) (4.4.11)
(図4.3.2) ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ()
(4.3.5) (7)
(4.3.14) (4.4.12)
(図4.3.3) ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
注入口付アンカーピンの本数 ・ 標準 ・ ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ()
呼び径 ・ 6mm ・ ()
(4.3.5) (7)
(4.3.15) (4.4.13)
(図4.3.4) ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
注入口付アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ()
呼び径 ・ 6mm ・ ()
(4.3.5) (7)
(4.3.16) (4.4.14)
(図4.3.4) ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
注入口付アンカーピンの本数及び注入口の配置 ・ 標準 ・ ()
材料 ・ ポリマーセメントスラリー ()
・ 注入口付アンカーピン (・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ())
呼び径 ・ 6mm ・ ()
(4.4.5) (4)
(4.4.7) ・ タイル部分張替え工法
張替え材料 ・ ポリマーセメントモルタル
・ 接着剤 (一液反応硬化形変成シリコーン樹脂) ・ ()
施工箇所 形状 寸法 耐滑り性 標準・特注色の別 耐凍害性の有無
・ 外装 タイル 小口平 二丁掛 100角 ・ 密着張り 5～8
・ ユニットタイル 50二丁以下 ・ マスク張り 3～4
・ モザイクタイル貼り 3～5
(4.4.5) (4)
(4.4.8)
(表4.4.5) ・ 役物 (・ 一体成形 ・ 接着加工)
・ 試験張り ・ 行う ・ 行わない
・ 見本焼き ・ 行う ・ 行わない
・ 既調合モルタル ・ 使用する ・ 使用しない
(4.4.5) (4)
(4.4.8)
(表4.4.5) ・ タイル張替え工法
タイルの種類 タイルの大きさ 工 法 塗り厚 (mm)
・ 外装 タイル 小口平 二丁掛 100角 ・ 密着張り 5～8
・ ユニットタイル 50二丁以下 ・ マスク張り 3～4
・ モザイクタイル貼り 3～5
(4.4.15) ・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法
注入口付アンカーピンの本数 (本)
(4.4.5) (5)
(4.4.16) ・ 目地ひび割れ部改修工法
・ 伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地 (位置 寸法 ×)
検査 シーリング接着性試験
・ 行う (・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験)

特記事項

代表設計者
一級建築士
第320204号
前野 将輝

設計担当
一級建築士
第307846号
三橋 五百子

設計担当
一級建築士
第378328号
加藤 早紀

設計担当
一級建築士
第360917号
前田 祐作

設計担当

法適合確認

作図
加藤 早紀
監図
三橋 五百子

工事名称
海浜公園内陸上競技場改修工事
図面名称
工事特記仕様書 (改修) No. 2
縮 尺
A2:1/NS
A3:1/NS
図面番号
A010
(原図・A2)

設計日

④

塗り仕上げ
(4.5.2)
(表4.5.1(その1)
(その2))

種 類

呼び名

仕上げ形状

工法

薄付け仕上塗材

・ 外装薄塗材E

・ 砂壁状
・ ゆず肌状
・ 平たん状
・ 凹凸状
・ ゆず肌状
・ さざ波状

吹付け
こて
ローラー

厚付け仕上塗材

・ 外装厚塗材C

・ 吹放し
・ 凸部処理
・ 平たん状
・ 凹凸状
・ ひき起し
・ 掻き落とし

吹付け
こて

複層仕上塗材

・ 複層塗材E
・ 複層塗材RE
・ 防水形複層塗材E
・ 防水形複層塗材RE

・ ゆず肌状
・ 凸部処理
・ 凹凸状

ローラー
吹付け

可とう形改修用
仕上塗材

・ 可とう形改修塗材E
・ 可とう形改修塗材RE
・ 可とう形改修塗材OE

・ 平たん状
・ さざ波状
・ ゆず肌状

ローラー
吹付け

・ 外装厚塗Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合
材所要量 (kg/m2)

・ マスチック塗材塗り ・ A種 ・ B種

(4.6.2)
(表4.6.1)
(表4.5.2)

複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の上塗材の種類

樹脂種類	溶媒種類	外 観		
・ アクリル系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶有 ・ 艶有	・ 艶無 ・ 艶無 ・ 艶無	・ メタリック
・ シリカ系	・ 水系	・ 艶無		
・ ポリウレタン系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶有 ・ 艶有	・ 艶無 ・ 艶無 ・ 艶無	・ メタリック
・ アクリル シリコン系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶有 ・ 艶有	・ 艶無 ・ 艶無 ・ 艶無	・ メタリック
・ ふっ素系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶有 ・ 艶有	・ 艶無 ・ 艶無 ・ 艶無	

(注) 艶無及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。

(表4.7.1)

外壁用塗膜防水材の仕上の形状及び工法

種類	仕上の形状	工法
外壁用塗膜防水材	・ 凹凸状 ・ 凸部処理 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状	・ 吹付け ・ ローラー

(4.5.4)

既存塗膜等の除去及び下地処理

工 法	処理範囲
・ サンダー工法 ・ 高圧水洗工法 ・ 塗膜はく離剤工法 ・ 水洗い工法 (高圧ポンプ (10～15MPa) ・ デッキブラシ)	全面

(4.5.5)

下地調整

・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()

⑤

建 具
改 修
工 事

①

改修工法
(5.1.3)

・ かぶせ工法
・ カバー工法 ・ 持出し工法 ・ ノンシール工法

・ 撤去工法
・ はつり工法 ・ 引抜き工法

2

防火戸
(5.1.4)

・ 例示仕様 ・ 個別認定 (認定番号:)
・ 自動閉鎖機構 ・ 図示 (図面番号:)

3

見本の製作
(5.1.5)

・ 製作する ・ 製作しない

4

防犯建物部品
(5.1.7)

・ 図示 (図面番号:)

5

ブラインドボッ
クス等
(5.1.6)(3)

・ 再使用する ・ 再使用しない

⑥

アルミニウム製
建具
(5.2.2)
(5.2.4)
(表5.2.1)

(表5.2.2)

外部建具の性能等級等 ・ A種 ・ B種 ・ C種
・ 枠の見込み寸法 ・ 70mm ・ ()
・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)
・ 結露水の処理方法 ・ 図示 (図面番号:)

アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種類
・ 外部に面する建具 (過酷な環境の屋外)
・ BA-1 ・ BA-2 ・ ()
・ 外部に面する建具 (一般的な環境の屋外)
・ BB-1 ・ BB-2 ・ ()
・ 内部に面する建具
・ BC-1 ・ BC-2 ・ ()

⑦

網戸
(5.2.3)(5)

・ 可動式 ・ 固定式
防虫網の材質
・ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製
網目
・ 16メッシュ ・ 18メッシュ

外部に面する樹脂製建具の性能等級等
・ A種 ・ B種 ・ C種

・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)
・ 日射熱取得性 (等級)
ガラス ・ 複層ガラス ・ ()
建具枠見込寸法 ・ 図示 (図面番号:)
水切り ・ 図示 (図面番号:)
ぜん板 ・ 図示 (図面番号:)
丁番 ・ 改修標準仕様書 (表5.7.3)による ・ 図示 (図面番号:)

鋼製建具の性能等級
・ 簡易気密性ドアセット
・ 外部に面する建具の耐風圧
・ S-4 ・ S-5 ・ S-6
・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)
・ 耐震ドアセット (等級)

・ H2400又はW950の建具
鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:) ・ 改修標準仕様書表5.4.2による

鋼製軽量建具の性能等級
・ 簡易気密性ドアセット
・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)
・ 耐震ドアセット (等級)
・ H2400又はW950の建具
鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:) ・ 改修標準仕様書表5.5.1による

表面仕上げ
・ 塗装
・ ビニル被覆鋼板
・ カラー鋼板
・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)
・ ()

ステンレス製建具の性能等級
・ 簡易気密性ドアセット
・ 外部に面する建具の耐風圧
・ S-4 ・ S-5 ・ S-6
・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)
・ 耐震ドアセット (等級) ・ MDF 改修標準仕様書5.7.2(2)(イ)(a)～(c) ・ ()

材料 ・ SUS304 ・ ()

表面仕上げ ・ HL仕上げ ・ ()

曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ

含水率 ・ A種 ・ B種
・ フラッシュ戸 表面材 ・ ()
厚み ・ 改修標準仕様書表5.7.6 ・ ()
表面材の品質等 ・ 改修標準仕様書5.7.2(2)(イ)(a)～(c) ・ ()
・ MDF 表裏面の状態による区分 ・ ()
曲げ強さによる区分 ・ ()
接着剤による区分 ・ ()
難燃性による区分 ・ ()

・ 引戸の召合せかまちをいんろう付きとする
・ かまち戸 見込み寸法 ・ 36mm ・ ()
かまち及び鏡板の樹脂 ・ ()
・ ふすま 見込み寸法 ・ 19.5mm ・ ()
種類 ・ I種 ・ II種
ふすま紙の上張り種類 ・ ()
縁の仕上げ ・ ()
・ 戸ぶすま 見込み寸法 ・ 30mm ・ ()
表面材 ・ ()
厚み ・ 改修標準仕様書表5.7.6 ・ ()
表面材の品質等 ・ 改修標準仕様書5.7.2(2)(イ)(a)～(c) ・ ()
・ MDF 表裏面の状態による区分 ・ ()
曲げ強さによる区分 ・ ()
接着剤による区分 ・ ()
難燃性による区分 ・ ()

・ 引戸の召合せかまちをいんろう付きとする
上張りの種類 ・ ()

・ 紙張り障子 見込み寸法 ・ 30mm ・ ()
枠及びくつずりの材料 ・ ()

金物の見え掛かり部等の材質等
・ 改修標準仕様書 (表5.8.1)による
・ 図示 (図面番号: A075, A078, A079)

マスターキー ・ 製作する ・ 製作しない
引渡用鍵箱 ・ 必要 ・ 不要

駆動装置及び検出装置の性能値 (・ 車椅子使用者用便房出入口用)
・ 図示 (図面番号:)

引き戸用検出装置の種類
・ 図示 (図面番号:)

凍結防止措置 ・ あり ・ なし

⑧

内 装
改 修
工 事

①

一般事項
(6.1.3)(2)

既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲

改修部分	改 修 範 囲
・ 天井	・ 図示 (図面番号: A087他)
・ 壁	・ 図示 (図面番号:)
・ 床	・ 図示 (図面番号:)

(6.1.3)(3)

天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲
・ 図示 (図面番号:) ・ ()

(6.1.3)(5)

天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修
・ 図示 (図面番号:) ・ ()

②

既存床撤去、下
地補修
(6.2.2)(1)(7)

既存床仕上げ材の除去等
浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去
・ 行う ・ 行わない

合成樹脂塗料床材の除去等
・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法

改修後の床の清掃範囲
・ 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲
・ ()

3

既存壁撤去、下
地補修
(6.3.2)

既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法
・ ()

4

木下地等
(6.5.2)(1)(4)
(表6.5.1)

(6.5.2)(2)(7)

木材の含水率 (工事現場搬入時、質量比)

部材名称	種 別
下地材	・ A種 ・ B種
造作材	・ A種 ・ B種

製材
「製材の日本農林規格」による製材

部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率	保存処理	材面の品質
下地用 針葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()
造作用 針葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()
広葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()

特
記
事
項

代表設計者
一級建築士
第320204号
前野 将輝

設計担当
一級建築士
第307846号
三橋 五百子

設計担当
一級建築士
第378328号
加藤 早紀

設計担当
一級建築士
第360917号
前田 祐作

設計担当

法適合確認

作図
加藤 早紀
監図
三橋 五百子

工事名称
海浜公園内陸上競技場改修工事

図面名称
工事特記仕様書 (改修) No. 3

縮 尺
A2:1/NS
A3:1/NS

設計日
図面番号
A011
(原図・A2)

(6.5.2)(2)(イ)	「製材の日本農林規格」以外の製材																												
(6.5.2)(2)(ウ)	樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、含水率 ・ 図示（図面番号： ）																												
(表6.5.2)	造作材の材面の品質 ・ A種 ・ （ ） 樹種																												
(5.5.6)(1)～(5.5.9)(1)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>部 位</th><th>樹 種</th><th>県 産 材</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	部 位	樹 種	県 産 材																									
部 位	樹 種	県 産 材																											
(6.5.2)(3)(ア)	造作用集成材 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>部 位</th><th>品 名 ・ 樹 種</th><th>見付け材面の寸法・品質・数</th><th>厚さ</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造作用集成材</td><td>・ 図示（図面番号： ）</td><td>・ 図示（図面番号： ）</td><td rowspan="3">・ （ ）</td></tr> <tr> <td>化粧ばり造作用集成材</td><td>・ 図示（図面番号： ）</td><td>・ 図示（図面番号： ）</td></tr> <tr> <td>化粧ばり構造用造作用集成柱</td><td>・ 図示（図面番号： ）</td><td></td></tr> </tbody> </table>	部 位	品 名 ・ 樹 種	見付け材面の寸法・品質・数	厚さ	造作用集成材	・ 図示（図面番号： ）	・ 図示（図面番号： ）	・ （ ）	化粧ばり造作用集成材	・ 図示（図面番号： ）	・ 図示（図面番号： ）	化粧ばり構造用造作用集成柱	・ 図示（図面番号： ）															
部 位	品 名 ・ 樹 種	見付け材面の寸法・品質・数	厚さ																										
造作用集成材	・ 図示（図面番号： ）	・ 図示（図面番号： ）	・ （ ）																										
化粧ばり造作用集成材	・ 図示（図面番号： ）	・ 図示（図面番号： ）																											
化粧ばり構造用造作用集成柱	・ 図示（図面番号： ）																												
(6.5.2)(3)(カ)	「集成材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、見付け材面の品質 ・ 図示（図面番号： ） 含水率 ・ １５％以下 ・ （ ）																												
(6.5.2)(4)(ア)	造作用単板積層材 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th><th>品名・寸法</th><th>表面の品質</th><th>防虫処理</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造作用単板積層材</td><td>・ 図示（図面番号： ）</td><td>・ （ ）</td><td>・ （ ）</td></tr> </tbody> </table>	部位	品名・寸法	表面の品質	防虫処理	造作用単板積層材	・ 図示（図面番号： ）	・ （ ）	・ （ ）																				
部位	品名・寸法	表面の品質	防虫処理																										
造作用単板積層材	・ 図示（図面番号： ）	・ （ ）	・ （ ）																										
(6.5.2)(4)(カ)	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 寸法、表面の品質、防虫処理 ・ 図示（図面番号： ） 含水率 ・ １４％以下 ・ （ ）																												
(6.5.2)(5)	「直交集成板の日本農林規格」による直交集成板 品名、曲げ強度、種別、接着性能、樹種及び寸法 ・ 図示（図面番号： ）																												
(6.5.2)(6)	・ 合板等																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>品名（品目）</th><th>樹種名</th><th>接着の程度</th><th>等級</th><th>板面の品質</th><th>防虫処理等</th><th>厚さ</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	品名（品目）	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ																					
品名（品目）	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ																							
(6.5.3)(1)	接合具等 造作材化粧面の釘打ち ・ 隠し釘打ち ・ （ ）																												
(6.5.3)(2)	諸金物 形状、寸法及び材質 ・ 図示（図面番号： ）																												
(6.5.5)(1)	・ 防腐、防蟻処理 適用部位 図示（図面番号： ） 保存処理性能区分（ ） 薬剤の塗布等の処理方法（ ） 附属書Aに基づく表面処理用木材保存剤 ・ 適用する（ ・ 薬剤の種類（ ） ・ 適用材料（ ）） ボード原料接着剤への防腐・防蟻処理（ ）																												
(6.5.5)(2)	・ 防虫処理 ・ 図示（図面番号： ）																												
⑤ 軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 ○ 屋内 ○ 19形 ・ （ ） ○ 屋外 ○ 25形 ・ （ ）																												
(6.6.2)																													
(表6.6.1)																													
(6.6.3)	形式及び寸法 ・ 屋外 ・ 図示（図面番号： ） ・ 耐震天井 ・ 図示（図面番号： ） ・ ふところ≥3.0m ・ 改修標準仕様書(6.6.4)(8) ・ 図示（図面番号： ）																												
(6.6.4)	既存埋込みインサート ○ 使用する ・ 使用しない（※使用する場合は、確認試験を行う） 既存埋込みインサード、あと施工アンカーの確認試験 ・ 行う（ 図示（図面番号： ）） ・ 行わない ・ 確認試験の箇所数（ 箇所） ・ 確認強度（ ） 耐震性・耐風圧性を考慮した補強 ・ 図示（図面番号： ）																												
⑥ 軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナー等の種類 ・ 図示（図面番号： ）																												
(6.7.3)																													
7 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り	材料 ・ ビニル床シート【JIS A 5705（ビニル系床材）】																												
(6.8.2)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th><th>色柄</th><th>厚さ</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>F S</td><td>マーブル</td><td>2.0mm</td><td>エポキシ系接着剤</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	種類の記号	色柄	厚さ	備考	F S	マーブル	2.0mm	エポキシ系接着剤																				
種類の記号	色柄	厚さ	備考																										
F S	マーブル	2.0mm	エポキシ系接着剤																										
(6.8.2)(1)																													
(6.8.2)(2)	・ ビニル床タイル【JIS A 5705（ビニル系床材）】																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th><th>色柄</th><th>寸法</th><th>厚さ</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>K T</td><td> </td><td> </td><td>2.0mm</td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	種類の記号	色柄	寸法	厚さ	備考	K T			2.0mm																			
種類の記号	色柄	寸法	厚さ	備考																									
K T			2.0mm																										
(6.8.2)(3)(ア)(イ)	・ 帯電防止床シート又は床タイル																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th><th>性能</th><th>寸法</th><th>厚さ</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	種類	性能	寸法	厚さ	備考																							
種類	性能	寸法	厚さ	備考																									
(6.8.2)(3)(ウ)	・ 視覚障害者用床タイル																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th><th>形状</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ビニル床タイル</td><td>300×300×7.0mm</td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	種類	形状	備考	ビニル床タイル	300×300×7.0mm																							
種類	形状	備考																											
ビニル床タイル	300×300×7.0mm																												

8	(6.8.2)(3)(イ)	・ 耐動荷重性床シート				
		種類	厚さ	備考		
	(6.8.2)(3)(イ)ハ	・ 防滑性床シート又は床タイル				
		種類	寸法	厚さ	備考	
	(6.8.2)(5)	・ ゴム床タイル				
		種類	色柄	寸法	厚さ	
9	(6.8.3)(1)	工法 下地 ・ モルタル塗り ・ セルフレベリング材塗り ・ 木下地 ・ その他 ()				
	(6.8.3)(2)イ	ビニル床シート張り 熱溶接工法 ・ 適用する ・ 適用しない				
	カーペット敷き	・ 織じゅうたん				
	(6.9.2)(1) (表6.9.1)	種類	糸の種類	バイルの形状	帯電性	
		・ A種	・ そ毛	・ カットバイル	・ 人体帯電圧	
		・ B種	・ 筋糸	・ ループバイル	・ 3KV以下	
		・ C種	・ ()	・ カット、ループ併用	・ ()	
					品質の程度	
					色柄	
					・ 無地	
10					・ 柄物	
		品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。(以下同様)				
	(6.9.2)(2) (表6.9.2)	・ タフテッドカーペット				
		バイルの形状	バイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度
		・ カットバイル		・ 人体帯電圧	・ 全面接着工法	
		・ ループバイル		・ 3KV以下	・ グリッパ工法	・ ()
		・ カット、ループ併用		・ ()		
	(6.9.2)(3) (表6.9.2)	・ タイルカーペット				
		種類	バイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度
			・ カットバイル	・ 500×500	・ 6.5	・ ()
11			・ ループバイル	・ ()	・ ()	・ ()
	(6.9.2)(4)	下敷き材	・ 第2種第2号、厚さ8mm	・ ()		
	(6.9.2)(5)	見切り、押え金物	・ 適用する(材質、種類及び形状	・ 図示(図面番号:		
	(6.9.3)(3)	織じゅうたんの接合方法				
		・ ヒートボンド工法	・ ()			
	(6.9.3)(5)	・ タイルカーペットの敷き方				
		平場	・ 市松敷き	・ 模様流し	・ ()	
		階段部分	・ 市松敷き	・ 模様流し	・ ()	
	合成樹脂塗床	弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工程				
	(6.10.3)(2)イ (表6.10.4)	・ 平滑仕上げ	・ 防滑仕上げ	・ つや消し仕上げ		
12	(6.10.3)(2)イ (6.10.3)(3) (表6.10.5)～ (表6.10.8)	エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類				
		・ 薄膜流しのべ仕上げ (・ 平滑 ・ 防滑)	・ 厚膜流しのべ仕上げ (・ 平滑 ・ 防滑)			
		・ 樹脂モルタル仕上げ (・ 平滑 ・ 防滑)	・ 薄膜型塗床仕上げ (・ 平滑)			
	フローリング張り	・ 釘留め工法				
	(6.11.4) (表6.11.2)	材料	種類	樹種		
		・ フローリングボード (根太張用)		・ なら		
		・ 複合フローリング (根太張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ ()		
		防湿処理 ・ 図示(図面番号:)				
	(6.11.5) (表6.11.5) (表6.11.6)	・ 接着工法				
		材種	樹種	厚さ	大きさ	
13		・ フローリングボード(直張用)				
		・ フローリングブロック(直張用)	・ なら			
		・ 複合フローリング(直張用)	・ ()			
		・ A種	・ B種	・ C種		
	繊維材	・ 合成樹脂発泡シート	・ 図示(図面番号:)			
	(6.11.6)	塗替え				
		下地調整	・ ()			
		塗装				
		・ ウレタン樹脂ワニス塗り(1液形、B種)				
		・ オイルステイン塗りのうすワックス塗り				
14		・ 生地そのままワックス塗り				
		・ ()				
	畳敷き	種類	・ A種	・ B種	・ C種	・ D種
	(6.12.2) (表6.12.1)		・ D種の畳床	・ K	・ I	・ II
			・ III	・ K	・ N	
	せっこうボード、その他ボード及び合板張り	材種	種類	厚さ(mm)		
	(6.13.2) (表6.13.1)	○ せっこうボード		壁	・ 9.5(準不燃)	・ 9.5(準不燃)
				天井	・ 9.5(準不燃)	・ 9.5(準不燃)
		○ 化粧せっこうボード	○ トラバーチン模様	・ 9.5(不燃)	○ 9.5(準不燃)	・ 9.5(準不燃)
			・ 木目模様	・ 9.5(不燃)	・ 9.5(準不燃)	
		・ ロックウール化粧吸音板	・ 普通	・ 9()		

	(6.13.3)(4) (ウ)	合板類の張付け ・ A種 ・ B種																											
	(6.13.3)(6) (7) (表6.13.5)	せっこうボードの目地工法 ☒ 継目処理 ・ 突付け ・ 目透し																											
	13 壁紙張り (6.14.2)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th><th>種類</th><th>防火性能</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td>・ 不燃 ・ 準不燃</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>・ 不燃 ・ 準不燃</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>・ 不燃 ・ 準不燃</td></tr> </tbody> </table>	施工箇所	種類	防火性能			・ 不燃 ・ 準不燃			・ 不燃 ・ 準不燃			・ 不燃 ・ 準不燃															
	施工箇所	種類	防火性能																										
			・ 不燃 ・ 準不燃																										
			・ 不燃 ・ 準不燃																										
			・ 不燃 ・ 準不燃																										
	①4 モルタル塗り (6.15.3) (6.15.5) (6.15.6)	モルタル ☒ 現場調合材料 ☒ 既調合材料 既製目地材 ・ 使用する（形状： ） 床の目地 ・ 図示（図面番号： ） 下地処理 ・ 壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mm超 図示（図面番号： ）																											
	①5 タイル張り (6.16.2) (6.16.3)	伸縮調整目地 位置 ・ 図示（図面番号： ） タイルの種類 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th><th>工 法</th><th>種 類</th><th>形状寸法</th><th>耐滑り性</th><th>うねぐすり</th><th>役 物</th><th>標準・特注色の別</th><th>耐凍害性の有無</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>床</td><td>圧着</td><td>I</td><td>50×50</td><td>○</td><td></td><td></td><td>標準</td><td>無</td></tr> <tr> <td>壁</td><td>圧着</td><td>II</td><td>100×100</td><td></td><td>○</td><td></td><td>標準</td><td>無</td></tr> </tbody> </table>	施工箇所	工 法	種 類	形状寸法	耐滑り性	うねぐすり	役 物	標準・特注色の別	耐凍害性の有無	床	圧着	I	50×50	○			標準	無	壁	圧着	II	100×100		○		標準	無
	施工箇所	工 法	種 類	形状寸法	耐滑り性	うねぐすり	役 物	標準・特注色の別	耐凍害性の有無																				
床	圧着	I	50×50	○			標準	無																					
壁	圧着	II	100×100		○		標準	無																					
(6.16.3)(2)	試験張り ・ 行う ☒ 行わない 見本焼き ・ 行う ☒ 行わない 既調合モルタル ・ 使用できる ・ 使用できない																												
16 セルフレベリング材塗り (6.17.2) (6.17.3)	・ セっこう系 ・ セメント系 塗厚（ ）mm																												
17 断熱材 (9.5.2)	断熱材打込み工法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th><th>種別</th><th>厚さ（mm）</th><th>施工箇所</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・ 押出法ポリスチレンフォーム</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・ A種硬質ウレタンフォーム</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・ フェノールフォーム</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	種類	種別	厚さ（mm）	施工箇所	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム				・ 押出法ポリスチレンフォーム				・ A種硬質ウレタンフォーム				・ フェノールフォーム											
種類	種別	厚さ（mm）	施工箇所																										
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム																													
・ 押出法ポリスチレンフォーム																													
・ A種硬質ウレタンフォーム																													
・ フェノールフォーム																													
(9.5.3)	断熱材現場発泡工法（吹付硬質ウレタンフォーム） <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th><th>厚さ [mm]</th><th>施工箇所</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ A種Ⅰ</td><td></td><td>・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所</td></tr> <tr> <td>・ A種ⅠH</td><td>・ （ ）</td><td>・ （ ）</td></tr> <tr> <td>・ （ ）</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	種類	厚さ [mm]	施工箇所	・ A種Ⅰ		・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所	・ A種ⅠH	・ （ ）	・ （ ）	・ （ ）																		
種類	厚さ [mm]	施工箇所																											
・ A種Ⅰ		・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所																											
・ A種ⅠH	・ （ ）	・ （ ）																											
・ （ ）																													

塗装改修工事	⑦ 材料 (7.1.3)	☒ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。（箇所： ）																																
	② 下地調整 (7.2.1～7.2.7) (表7.2.1)～ (表7.2.7)	既存塗膜の除去範囲（塗り替えてRＢ種の場合） ☒ 図示（図面番号： ） <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th><th>下地</th><th>種別</th><th>ひび割れ部の補修</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>☒ 木部</td><td>・ RA種 ☒ RB種 ・ RC種</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>☒ 鉄鋼面</td><td>・ RA種 ☒ RB種 ・ RC種</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・ 垂鉛めっき鋼面</td><td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・ モルタル、プラスター面</td><td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td><td>・ 行う</td><td></td></tr> <tr><td>・ コンクリート、ALCパネル面</td><td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td><td>・ 行う</td><td></td></tr> <tr><td>・ コンクリート、押出成形セメント板面</td><td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td><td>・ 行う</td><td></td></tr> <tr><td>☒ セっこうボード、その他ボード面</td><td>・ RA種 ☒ RB種 ・ RC種</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	種別	下地	種別	ひび割れ部の補修	☒ 木部	・ RA種 ☒ RB種 ・ RC種			☒ 鉄鋼面	・ RA種 ☒ RB種 ・ RC種			・ 垂鉛めっき鋼面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種			・ モルタル、プラスター面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う		・ コンクリート、ALCパネル面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う		・ コンクリート、押出成形セメント板面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う		☒ セっこうボード、その他ボード面	・ RA種 ☒ RB種 ・ RC種		
	種別	下地	種別	ひび割れ部の補修																														
	☒ 木部	・ RA種 ☒ RB種 ・ RC種																																
	☒ 鉄鋼面	・ RA種 ☒ RB種 ・ RC種																																
	・ 垂鉛めっき鋼面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種																																
	・ モルタル、プラスター面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う																															
	・ コンクリート、ALCパネル面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う																															
	・ コンクリート、押出成形セメント板面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う																															
	☒ セっこうボード、その他ボード面	・ RA種 ☒ RB種 ・ RC種																																
③ 素地こしらえ (7.3.1～7.3.7) (表7.3.1)～ (表7.3.7)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th><th>下地</th><th>種別</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>・ 木部</td><td>・ A種 ・ B種</td><td></td></tr> <tr><td>・ 鉄鋼面</td><td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td><td></td></tr> <tr><td>・ 垂鉛めっき鋼面</td><td>・ A種 ・ B種</td><td></td></tr> <tr><td>☒ モルタル、プラスター面</td><td>・ A種 ☒ B種</td><td></td></tr> <tr><td>・ コンクリート、ALCパネル面</td><td>・ A種 ・ B種</td><td></td></tr> <tr><td>・ コンクリート、押出成形セメント板面</td><td>・ A種 ・ B種</td><td></td></tr> <tr><td>・ セっこうボード、その他ボード面</td><td>・ A種 ・ B種</td><td></td></tr> </tbody> </table>	種別	下地	種別	・ 木部	・ A種 ・ B種		・ 鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種		・ 垂鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種		☒ モルタル、プラスター面	・ A種 ☒ B種		・ コンクリート、ALCパネル面	・ A種 ・ B種		・ コンクリート、押出成形セメント板面	・ A種 ・ B種		・ セっこうボード、その他ボード面	・ A種 ・ B種										
種別	下地	種別																																
・ 木部	・ A種 ・ B種																																	
・ 鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種																																	
・ 垂鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種																																	
☒ モルタル、プラスター面	・ A種 ☒ B種																																	
・ コンクリート、ALCパネル面	・ A種 ・ B種																																	
・ コンクリート、押出成形セメント板面	・ A種 ・ B種																																	
・ セっこうボード、その他ボード面	・ A種 ・ B種																																	
④ 錆止め塗料塗り (7.4.2) (7.4.3) (表7.4.3)～ (表7.4.5)	錆止め塗料種別 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ☒ E種 垂鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 錆止め塗料塗り種別 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ☒ C種 垂鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種																																	
5 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) (7.5.3～7.5.4) (表7.5.1)～ (表7.5.3)	塗料種別 ・ 1種 ・ （ ） 種別 <table border="1"> <thead> <tr> <th>下地</th><th>種別</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>・ 木部</td><td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td></tr> <tr><td>・ 鉄鋼面</td><td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td></tr> <tr><td>・ 垂鉛めっき鋼面</td><td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td></tr> </tbody> </table>	下地	種別	・ 木部	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ 鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ 垂鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種																									
下地	種別																																	
・ 木部	・ A種 ・ B種 ・ C種																																	
・ 鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種																																	
・ 垂鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種																																	
⑥ クリヤラッカー塗り(OL) (7.6.2) (表7.6.1)	種別 木部 ・ A種 ☒ B種																																	

[illegible]

8 の 5 耐 震 改 修 工 事 あ と 施 工 ア ン カ ー 工 事	(あと施工アンカー)	種類 ・ 金属系 セットの方式 ・ 本体打込み式 (・ 改良型 ・ 従来型) 径及び埋込み長さ ・ 図示 (図面番号:) 引張耐力 ・ 図示 (図面番号:) せん断耐力 ・ 図示 (図面番号:) 接合筋の種類・径・長さ ・ 図示 (図面番号:) ・ 接着系 アンカーの種類 ・ カプセル型回転・打撃式 ・ () 接着剤の品質 ・ 有機系 ・ 無機系 径及び埋込み長さ ・ 図示 (図面番号: S019) 引張耐力 ・ 図示 (図面番号: S019) せん断耐力 ・ 図示 (図面番号: S019) アンカー筋の種類 ・ 図示 (図面番号: S019) アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・ 図示 (図面番号: S019) あと施工アンカーの性能確認試験 ・ 行う ・ 行わない
	1 あと施工アンカーの材料 (8.2.4) (表8.2.2)	
	2 あと施工アンカーの施工 (8.12.4) (8.12.6) (8.12.7)	穿孔 埋込み配管等の探査の方法 ・ 鉄筋探知機(金属探知機)により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 ・ はつり出しによる。 ・ () あと施工アンカーの施工確認試験 ・ 実施する ・ 実施しない 試験方法 ・ 引張試験による引張試験 ・ () 1ロットの単位 ・ 1日に施工されたものの径及び仕様ごと ・ () 試験の箇所数 ・ 1ロットに対し3本(無作為) ・ () 確認強度 ・ ()
場所打ちコンクリート壁の増設工事)	場所打ちコンクリート壁の打増部に用いる既存部とのシアコネクタ 種類 ・ 金属系あと施工アンカーの異形差筋アンカー ・ 接着系あと施工アンカーの異形差筋アンカー 径[mm] ・ D10 長さ[mm] ・ 増打壁厚－40 ・ () 彫込み深さ[mm] ・ 5d(d: シアコネクタの径)以上 ・ () 間隔[mm] ・ 500×500 シアコネクタとセパレーターの兼用 ・ 兼用してもよい ・ 兼用しない ・ ()	
3 シアコネクタ		
8 の 6 耐 震 改 修 工 事 鉄 骨 工 事	1 鉄骨製作工場 (8.1.5)	㈱日本鉄骨評価センター又は㈱全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工事の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・ J ・ R ・ M ・ H ・ S
	2 鉄骨製作工場における施工管理技術者 (8.1.6)	施工管理技術者(鉄骨製作管理技術者、鉄骨工事管理責任者等)の配置 ・ しない ・ する
	3 鋼材 (8.2.8)	種類・形状及び寸法 ・ 図示(図面番号:)
	4 高力ボルト (8.2.9) (8.14.2) (8.14.7)	高力ボルトの適用 ・ トルシア形高力ボルト2種(S10T) ・ JIS形高力ボルト2種(F10T) ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト1種(F8T相当) ねじの呼び ・ 図示(図面番号:) すべり試験 ・ 行う(試験方法等 図示: 図面番号) JIS形・ナット回転法かつボルト長がねじの5倍を超える場合の回転量 ・ ()
	5 溶接材料 (8.2.10)	・ 改修標準仕様書(8.2.10)(1)(2)以外の溶接材料 材料及び使用箇所 ・ 図示(図面番号:)
	6 仮組 (8.13.10)	仮組の実施 ・ 実施する() ・ 実施しない
	7 溶接作業を行う技能資格者 (8.15.3)	溶接作業における技能資格者の技量付加試験 ・ 実施する() ・ 実施しない
	8 溶接の準備 (8.15.4)	開先の形状 ・ 図示(図面番号: S007)
	9 溶接施工 (8.15.7)	鋼製エンドタブの切断 ・ 適用箇所 図示(図面番号:) 切断面の仕上げ ・ () 鋼製エンドタブに代わるその他の工法 鋼製エンドタブに代わるその他の工法については、代替エンドタブ(セラミックタブ又はフラックスタブ)を用いたものとし、工法の採用にあたっては、以下の項目の両方とも満足することを条件とし、監督員の承諾を受けること。 1. 相当数の代替エンドタブによる溶接を行ったことがある工場での製作であること。 2. 製作工場が、F、Mグレードの場合は、溶接技能者がNPO法人日本エンドタブ協会による圓形タブに係るエンドタブ施工講習修了者(溶接技能者・A級以上)又はAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者となること。また、製作工場がH、Sグレードの場合は、溶接技能者がAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者となること。 板厚が異なる場合の突合せ継手溶接部 ・ 低応力高サイクル疲労を受ける部位 図示(図面番号:) スカライプの形状 ・ 図示(図面番号:)
	10 溶接部の試験 (8.15.12)	溶接部の外観試験 ・ 試験方法() ・ 確認方法() 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 工場溶接の場合 ・ 全数試験とする ・ 公共建築工事標準仕様書(令和4年版)(7.6.12)(イ)による。 平均出検品質限界(AOQL) ・ 4.0% ・ 2.5% ・ () 検査水準 ・ 第6水準 ・ () ロットの構成() 工事現場溶接の場合 ・ 全数試験とする ・ 公共建築工事標準仕様書(令和4年版)(7.6.12)(イ)による。 平均出検品質限界(AOQL) ・ 4.0% ・ ()

8 の 6	耐震改修工事 鉄骨工事	1 鉄骨製作工場 (8.1.5)	※日本鉄骨評価センター又は※全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工事の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・ J ・ R ・ M ・ H ・ S
		2 鉄骨製作工場における 施工管理技術者 (8.1.6)	施工管理技術者（鉄骨製作管理技術者、鉄骨工事管理責任者等）の配置 ・ しない ・ する
		3 鋼材 (8.2.8)	種類・形状及び寸法 ・ 図示（図面番号： ）
		4 高力ボルト (8.2.9) (8.14.2) (8.14.7)	高力ボルトの適用 ・ トルシア形高力ボルト2種（S10T） ・ JIS形高力ボルト2種（F10T） ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト1種（F8T相当） ねじの呼び ・ 図示（図面番号： ） すべり試験 ・ 行う（試験方法等 図示：図面番号 ） JIS形・ナット回転数かつボルト長がねじの5倍を超える場合の回転量 ・ （ ）
		5 溶接材料 (8.2.10)	・ 改修標準仕様書(8.2.10)(1)(2)以外の溶接材料 材料及び使用箇所 ・ 図示（図面番号： ）
		6 仮組 (8.13.10)	仮組の実施 ・ 実施する（ ） ・ 実施しない
		7 溶接作業を行う 技能資格者 (8.15.3)	溶接作業における技能資格者の技量付加試験 ・ 実施する（ ） ・ 実施しない
		8 溶接の準備 (8.15.4)	開先の形状 ・ 図示（図面番号： S007 ）
		9 溶接施工 (8.15.7)	鋼製エンドタブの切断 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ） 切断面の仕上げ ・ （ ） 鋼製エンドタブに代わるその他の工法 鋼製エンドタブに代わるその他の工法については、代替エンドタブ（セラミックタブ又はフラックスタブ）を用いたものとし、工法の採用にあたっては、以下の項目の両方とも満足することを条件とし、監督員の承諾を受けること。 1. 相当数の代替エンドタブによる溶接を行ったことがある工場での製作であること。 2. 製作工場がJ、R、Mグレードの場合は、溶接技能者がNPO法人日本エンドタブ協会による圓形タブに係るエンドタブ施工講習修了者（溶接技能者・A級以上）又はAWK検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者としてすること。また、製作工場がH、Sグレードの場合は、溶接技能者がAWK検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者としてすること。 板厚が異なる場合の突合せ継手溶接部 ・ 低応力高サイクル疲労を受けやすい部位 図示（図面番号： ） スカラー部の形状 ・ 図示（図面番号： ）
		10 溶接部の試験 (8.15.12)	溶接部の外観試験 ・ 試験方法（ ） ・ 確認方法（ ） 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 工場溶接の場合 ・ 全数試験とする ・ 公共建築工事標準仕様書(令和4年版)(7.6.12)(イ)による。 平均出検査品質限界(AOQL) ・ 4.0% ・ 2.5% ・ （ ） 検査水準 ・ 第6水準 ・ （ ） ロットの構成（ ） 工事現場溶接の場合 ・ 全数試験とする ・ 公共建築工事標準仕様書(令和4年版)(7.6.12)(イ)による。 平均出検査品質限界(AOQL) ・ 4.0% ・ （ ）

1 1

鉄骨の錆止め塗装
(8.17.2)
(8.17.4)

1 2

耐火被覆材の種類及び性能
(8.18.2)
(8.18.3)

1 3

ブレース設置
工事後の仕上げ
(8.22.9)

1 4

スタッド
(8.2.11)

8
の
7

耐震改修工事

グラウト工事

1

(グラウト工事)
モルタル及びグラウト材
(8.2.6)
(8.2.12)
(表8.2.10)

現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事及び鉄骨ブレースの設置工事等)

2

既存構造体との
取合部の処理方法
(8.21.9)
(8.22.7)

8
の
8

耐震改修工事

柱補強工事

1

(連続繊維補強工事)
連続繊維シート等による工法
(8.24.1)

2

連続繊維シート及び含浸接着樹脂等の材料
(8.2.13)

3

連続繊維シートの施工準備

4

鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法
(8.23.6)

5

耐震補強後の仕上げ
(8.23.7)
(8.24.7)

6

炭素繊維シートの施工

7

連続繊維補強材の強度試験
(8.24.6)

8 の 8	耐震改修工事	柱補強工事
1	連続繊維補強工事) 連続繊維シート等による工法 (8.24.1)	連続繊維による補強、補修工法 ・ (財)日本建築防災協会の評価を受けた工法とする。 ・ ()
2	連続繊維シート及び含浸接着樹脂等の材料 (8.2.13)	連続繊維の材料 ・ () 工法 ・ () 引張強度 (含浸硬化後) ・ () ヤング係数 (含浸硬化後) ・ ()
3	連続繊維シートの施工準備	仕上げモルタルの除去 ・ 既存構造躯体面まで除去する ・ モルタル除去は行わない ・ () 既存モルタルの圧縮強度測定 ・ 行う () ・ 行わない ひび割れ部の改修工法 ・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシーリング材充填工法 ・ シーリング工法
4	鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 (8.23.6)	柱頭柱脚の隙間寸法 ・ 図示 (図面番号:)
5	耐震補強後の仕上げ (8.23.7) (8.24.7)	・ 図示 (図面番号:)
6	炭素繊維シートの施工	炭素繊維の目付量 ・ 図示 (図面番号:) ・ 200g/m ² ・ 300g/m ² ・ () 炭素繊維シートの巻き数 ・ 図示 (図面番号:) ・ 1巻き ・ 2巻き ・ ()
7	連続繊維補強材の強度試験 (8.24.6)	引張強度試験 ・ 実施する (JIS A1191に準拠する) ・ 実施しない 試験数量 () 付着強度試験 ・ 実施する (JIS A6909に準拠する) ・ 実施しない 試験数量 ()

8
9
耐震補強工事
スリット新設工事
免震改修工事
制振改修工事

耐震スリット新設工事

(8. 25. 1)
(8. 25. 2)

スリットの種類

	一般型	一面せん断型	
記号			
形状	・ 図示（図面番号： ）	・ 図示（図面番号： ）	
幅W（mm）	・ 図示（図面番号： ） ・ （ ）	・ 図示（図面番号： ） ・ （ ）	
既存鉄筋の処理	・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ （ ）	・ 切断してよい ・ （ ）	

部分スリットの形状

	片側スリット	両面スリット	
記号			
形状	・ 図示（図面番号： ）	・ 図示（図面番号： ）	
幅W（mm）	・ 図示（図面番号： ） ・ （ ）	・ 図示（図面番号： ） ・ （ ）	
目地部の残存厚さ	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下	
ts（mm）	・ （ ）	・ （ ）	
既存鉄筋の処理	・ 存置する ・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ （ ）	・ 存置する ・ 切断してよい	

2 スリットの施工

スリット部の配管等の調査

範囲

・ スリット新設部に伴う鉄筋コンクリートの撤去範囲全て。
・ 図示（図面番号： ）
・ （ ）

方法

・ 鉄筋探査機（金属探知器）により探査し、鉄筋、配管類の位置に差出しを行う。

スリットの逃げ位置

壁上端部

・ 梁との接合部

・ （ ）

壁の柱きわ部

・ 柱の仕上げを逃けたきわ部

・ （ ）

壁下端部

・ 床仕上げ上部

・ 床体上部

・ （ ）

撤去部の補修

・ 図示（図面番号： ）

充填材

・ 耐火材

使用箇所（ ）

仕様（ ）

・ 遮音材

使用箇所（ ）

仕様（ ）

3 免震・制振改修

(8. 26. 1)～
(8. 27. 9)

免震改修、制振改修に関する仕様は、図示する。

8
10
その他工事

1 土工事

(8. 28. 2)
(8. 28. 3)

既存杭の撤去

・ 図示（図面番号： ）

埋戻し及び盛土の材料及び工法

・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種

建設発生土の処理

・ 処分地指定

処分地（ ）

・ 処分地未定につき相互協議する。

暫定運搬距離

・ 8km ・ 4km ・ （ ）

山留めの撤去

・ 撤去（鋼矢板等の抜き跡の処理

・ 直ちに砂で充填する ・ （ ）

・ 存置

2 地業工事

(8. 28. 4)

杭の施工監理

杭工事特記仕様書による。

適用基準

本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。

国土交通省告示第468号 「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」〔平成28年3月4日）

施工記録

受注者は、杭の施工期間中は、1 週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。

なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。

根拠資料

共通仕様書、特記仕様書及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料（施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等）は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。

保管期間は契約書第3 1 条第4 項又は第5 項（第3 8 条においてこれらの規定を準用する場合を含む。）の規定による引渡しを受けた日から1 0 年とする。

また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。

試験杭及び試験掘

・ 試験杭

位置、本数及び寸法は図示（図面番号： S014 ）による。

・ 試験掘

位置、本数及び寸法は図示（図面番号： ）による。

杭の支持層

支持層の位置、土質、杭の根入れ長さ

・ 図示（図面番号： S013 ） ・ （ ）

水平方向の位置ずれの精度

・ （ 100 ）mm以下

杭の載荷試験

試験方法

・ 鉛直載荷 ・ 水平載荷 ・ （ ）

試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。

位置

・ 図示（図面番号： ）

載荷荷重（ kN）

報告書

・ 提出部数 2部

8の10 その他工事	1 土工事 (8.28.2) (8.28.3) 既存杭の撤去 ・ 図示（図面番号： ） - 埋戻し及び盛土の材料及び工法 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 建設発生土の処理 ・ 処分地指定 処分地（ ） ・ 処分地未定につき相互協議する。 - 暫定運搬距離 ・ 8km ・ 4km ・ （ ） 山留めの撤去 ・ 撤去（鋼矢板等の抜き跡の処理 ・ 直ちに砂で充填する ・ （ ）） ・ 存置
2 地盤工事 (8.28.4)	杭の施工監理 杭工事特記仕様書による。 適用基準 本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。 国土交通省告示第468号 「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」(平成28年3月4日) 施工記録 受注者は、杭の施工期間中は、1 週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。 なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。
	根拠資料 共通仕様書、特記仕様書及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料（施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等）は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第3 1条第4項又は第5項（第3 8条においてこれらの規定を準用する場合を含む。）の規定による引渡しを受けた日から10年とする。 また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。
	試験杭及び試験掘 ・ 試験杭 位置、本数及び寸法は図示（図面番号： S014 ）による。 ・ 試験掘 位置、本数及び寸法は図示（図面番号： ）による。
	杭の支持層 支持層の位置、土質、杭の根入れ長さ ・ 図示（図面番号： S013 ） ・ （ ） 水平方向の位置ずれの精度 ・ （ 100 ）mm以下 杭の載荷試験 試験方法 ・ 鉛直載荷 ・ 水平載荷 ・ （ ） 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 ・ 図示（図面番号： ） 載荷荷重 （ kN） 報告書 ・ 提出部数 2部

[illegible]



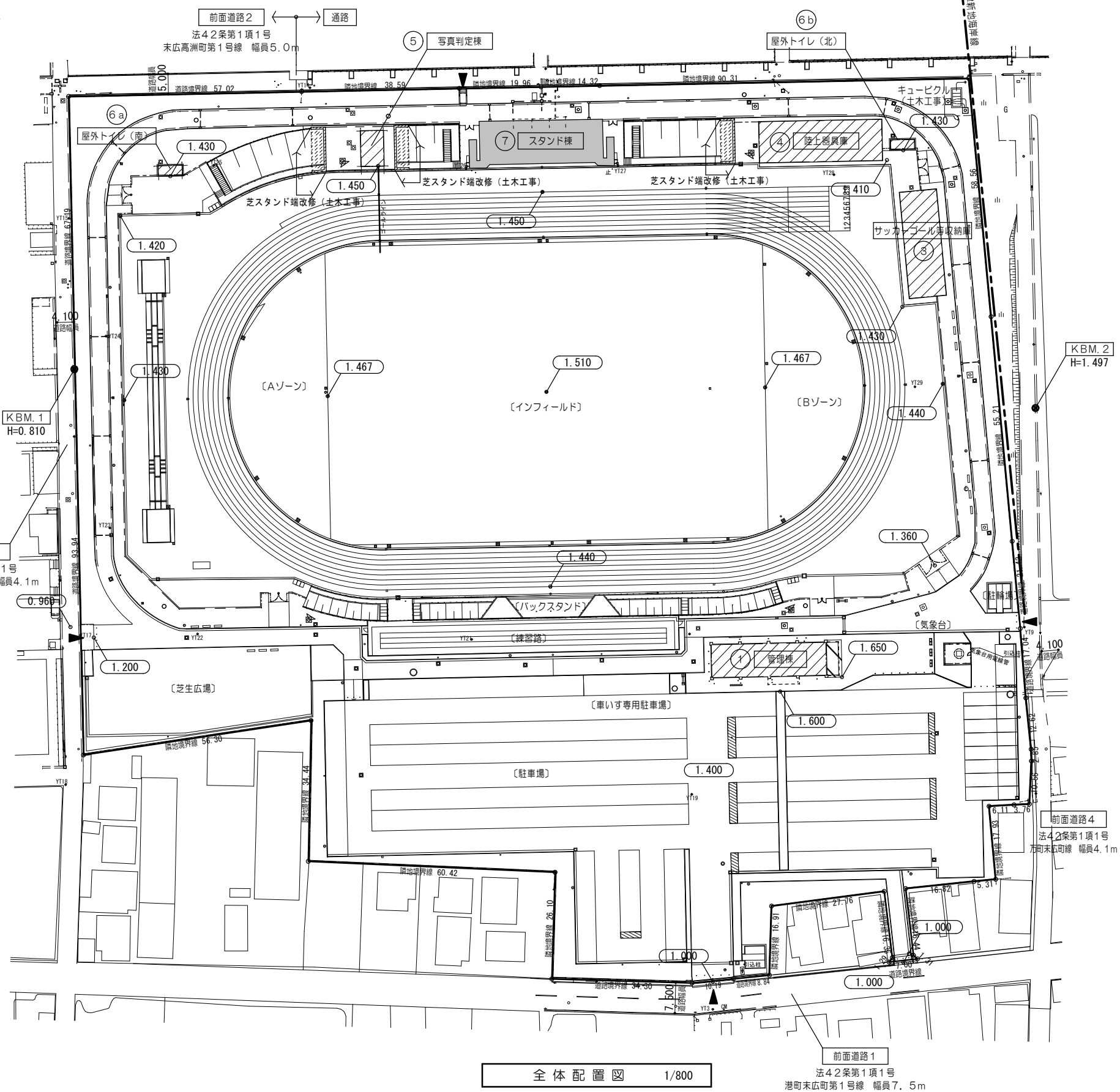
付 近 見 取 図 1/5000



計画建物において、延焼のおそれがある部分がかかっていないことあきらかなため、延焼ラインは記載しません。

凡 例	
	申請建物を示す
	改修建物を示す
	敷地出入口を示す

	番号	棟 名	建築面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	構造	床面積 (㎡)		備 考
						1 階	2 階	
申請建物（新築）	①	管理棟	286.82	448.00	RC造	224.00	224.00	
	③	サッカーゴール等収納庫	234.00	234.00	S造	234.00	—	
	④	陸上器具庫	300.00	300.00	S造	300.00	—	
	⑤	写真判定棟	47.95	95.90	S造	47.95	47.95	
	⑥a	屋外トイレ（南）	12.67	12.67	RC造	12.67	—	
	⑥b	屋外トイレ（北）	12.67	12.67	RC造	12.67	—	
小 計			894.11	1,103.24		831.29	271.95	
改修	⑦	スタンド棟	340.67	568.26	RC造	253.85	314.41	【建築計画概要書】 第60市284号（昭和60年7月2日） 【建築基準法第48条第1項但書許可】 第58—12号（昭和58年10月4日）
小 計			340.67	568.26		253.85	314.41	
合 計			1,234.78	1,671.50		1,085.14	586.36	



全体配置図 1/800

特 記 事 項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号  株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝		代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図  工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事	設計日
			一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作		除図  図面名称 【共通】全体配置図、付近見取図	縮 尺 A2: 1/800 A3: 1/1128	図面番号 A017 (原図: A2)



地番				
番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
①	88.03	43.52	3,831.0656	1,915.53280
②	116.74	22.21	2,592.7954	1,296.39770
③	133.54	10.07	1,344.7478	672.37390
④	164.92	83.48	13,767.5216	6,883.76080
⑤	103.21	50.83	5,246.1643	2,623.08215
⑥	160.11	10.15	1,625.1165	812.55825
⑦	176.97	136.26	24,113.9322	12,056.96610
⑧	111.17	47.45	5,275.0165	2,637.50825
⑨	150.35	33.06	4,970.5710	2,485.28550
⑩	70.27	29.60	2,079.9920	1,039.99600
⑪	174.89	44.47	7,777.3583	3,888.67915
⑫	176.97	21.15	3,742.9155	1,871.45775
⑬	43.07	20.78	894.9946	447.49730
⑭	128.43	15.68	2,013.7824	1,006.89120
⑮	53.59	21.58	1,156.4722	578.23610
⑯	122.76	26.16	3,211.4016	1,605.70080
⑰	27.05	6.32	170.9560	85.47800
⑱	20.08	7.38	148.1904	74.09520
⑲	80.37	14.80	1,189.4760	594.73800
⑳	58.53	8.22	481.1166	240.55830
㉑	27.97	5.26	147.1222	73.56110
㉒	17.25	5.03	86.7675	43.38375
㉓	33.05	2.77	91.5485	45.77425
㉔	17.31	1.76	30.4656	15.23280
㉕	15.18	4.22	64.0596	32.02980
㉖	28.66	10.50	300.9300	150.46500
㉗	11.55	3.42	39.5010	19.75050
㉘	17.25	4.98	85.9050	42.95250
㉙	18.74	5.08	95.1992	47.59960
㉚	7.00	0.93	6.5100	3.25500
㉛	6.18	0.82	5.0676	2.53380
合 計				43,293.33135
敷 地 面 積				43,293.33 m ²

設 計 概 要					外 部 仕 上 表														
工 事 名 称		海浜公園内陸上競技場改修工事			管理棟					サッカーゴール等収納庫 陸上器具庫					写真判定棟				
工 事 場 所		津市末広町24番32号（海浜公園）			部 位					部 位					部 位				
防 火 指 定		指定なし			仕 上					仕 上					仕 上				
道 路 幅 員		敷地北側：万町末広町線 幅員4.1m 敷地東側：港町末広町第1号線 幅員7.5m 敷地南側：中河原末広町第5号線 幅員4.1m 敷地西側：末広高洲町第1号線 幅員5.0m			屋 根					屋 根					屋 根				
用 途 地 域		市街化区域（第一種住居地域） （建ぺい率：60％ 容積率：200％）			陸屋根					樋					庇				
そ の 他		法22条区域、箕崎浦風致地区			ドレン					外 壁					外 壁				
敷 地 面 積		43,293.33㎡			樋					根廻り					根廻り				
工 事 種 別		新築、改修（スタンド棟）			軒 天					開口部					開口部				
主要用途	新築		建築基準法	消防法施行令別表第1	外 壁					犬走り					犬走り				
		【管 理 棟】	集会場	1項（ロ）	梁天端					根廻り					根廻り				
		【サッカーゴール等収納庫】	倉庫	14項	断熱材					開口部					開口部				
		【陸上器具庫】	倉庫	14項	外部階段					通路					通路				
建築面積	新築	【写真判定棟】	写真判定棟	15項	その他					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物				
		【屋外トイレ（南）】	公衆便所	——	主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物				
		【屋外トイレ（北）】	公衆便所	——	主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物				
		【スタンド棟】	観覧場	1項（イ）	主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物				
延床面積	新築	【管 理 棟】	286.82㎡		外部階段					通路					通路				
		【サッカーゴール等収納庫】	234.00㎡		その他					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物				
		【陸上器具庫】	300.00㎡		主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物				
		【写真判定棟】	47.95㎡		主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物				
改修	改修	【屋外トイレ（南）】	12.67㎡		主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物				
		【屋外トイレ（北）】	12.67㎡		主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物				
		【スタンド棟】	340.67㎡		主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物				
		【管 理 棟】	448.00㎡		主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物				
改修	改修	【サッカーゴール等収納庫】	234.00㎡		主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物				
		【陸上器具庫】	300.00㎡		主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物				
		【写真判定棟】	95.90㎡		主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物				
		【屋外トイレ（南）】	12.67㎡		主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物				
改修	改修	【屋外トイレ（北）】	12.67㎡		主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物				
		【スタンド棟】	568.26㎡		主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物				
					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物				
					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物				

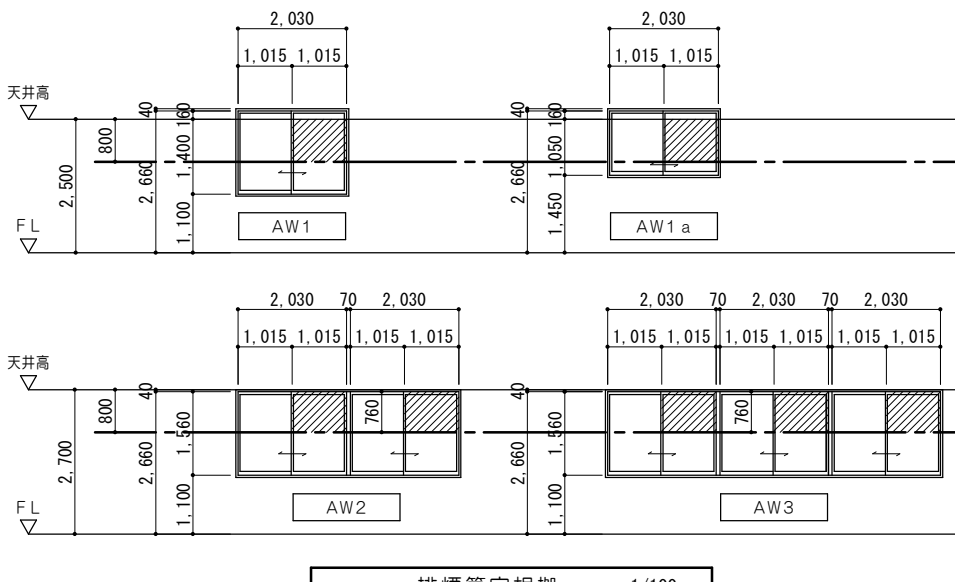
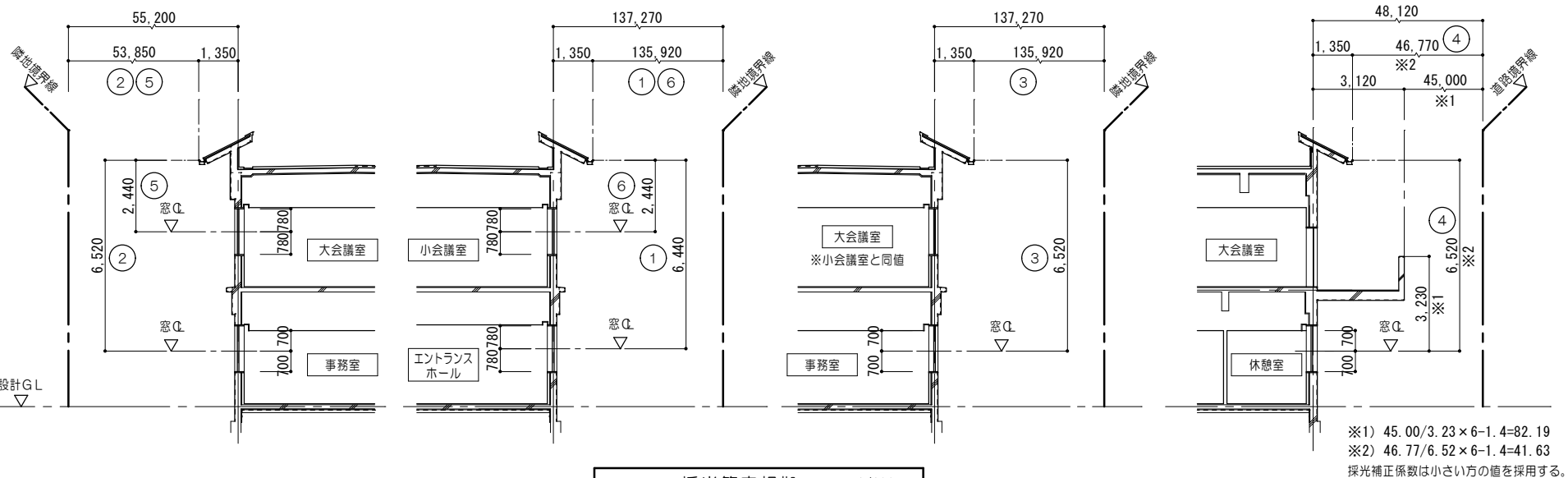
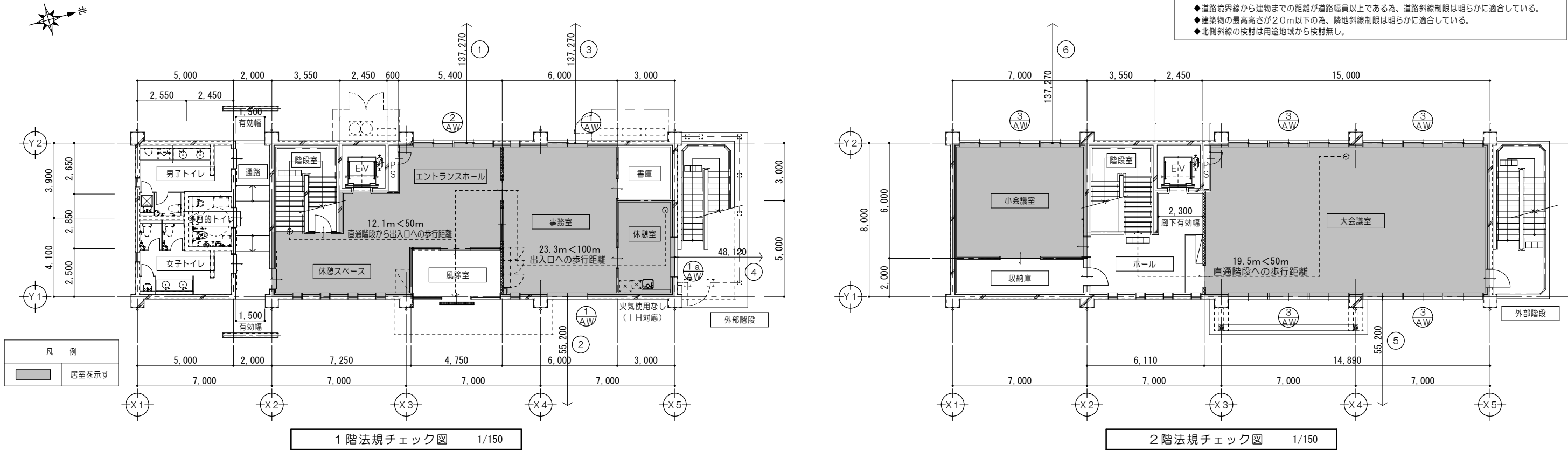
内 部 仕 上 表 【 管 理 棟 】																					
階	内装制限	室 名	床			巾 木			腰 壁			壁			天 井				CH	室名札	備 考
			記号	下 地	仕 上	記号	仕 上	H	記号	下 地	仕 上	記号	下 地	仕 上	記号	下 地	仕 上	廻縁			
1	—	風除室	F 1	モルタル木コテ押工	磁器質300角タイル張	BB 1	磁器質150角タイル張	150	—	——	——	W 1	LGS下地	ビニルクロス張 PBア12. 5	C 1	LGS下地	化粧PBア9. 5張	塩ビ	2, 700		
											W 2	遮音壁（スラブまで）	ビニルクロス張								
	—	エントランスホール 休憩スペース	F 2	モルタル金コテ押工	ビニル床シートア2. 0張	BB 3	木製巾木 CL塗	60	SW 1	LGS下地	杉小巾板ア12張 CL塗 PBア12. 5	W 1	LGS下地	ビニルクロス張 PBア12. 5	C 1	△	△	塩ビ	2, 700		掲示板、館内案内サイン、 BB、ブラインド
									SW 2	遮音壁（スラブまで）	杉小巾板ア12張 CL塗	W 2	遮音壁（スラブまで）	ビニルクロス張							
	—	事務室	F 3	OAフロア（支柱式） H100 セルフレバリング	タイルカーベッタ6. 5敷 （帯電防止・土足対応）	BB 3	△	60	—	——	——	W 1	LGS下地	ビニルクロス張 PBア12. 5	C 2	△	化粧吸音PBア9. 5張	塩ビ	2, 500	○	BB、ブラインド
											W 2	遮音壁（スラブまで）	ビニルクロス張								
	—	書庫	F 2	モルタル金コテ押工	ビニル床シートア2. 0張	BB 2	ビニル巾木	60	—	——	——	W 1	LGS下地	ビニルクロス張 PBア12. 5	C 1	△	化粧PBア9. 5張	塩ビ	2, 500	○	
	—	休憩室	F 2	△	△	BB 2	△	60	—	——	——	W 1	△	△	C 1	△	△	塩ビ	2, 500	○	キッチン、BB、ブラインド
											W 3	△	抗菌メラミン不燃化粧板ア3張 PBア12. 5								
—	階段下倉庫	F 2	△	△	BB 2	△	60				W 1	△	ビニルクロス張 PBア12. 5	C 4	コンクリート 打放シ補修	NAD塗	—	—	○		
										W 5	コンクリート下地	ビニルクロス張 PBア12. 5（GL工法）									
—	女子トイレ 男子トイレ	F 4	モルタル木コテ	磁器質100角タイル張	—	——		SW 3	モルタル木コテ CB下地	陶器質100角タイル張	W 4	——	コンクリート打放シ補修 NAD塗	C 3	LGS下地	ケイカル板ア6 EP塗	塩ビ	2, 500	○ ビクト サイン	汚垂タイル（男子トイレ） 洗面カウンター（建築工事） 上記ボウル（機械設備工事）	
								SW 4	モルタル木コテ コンクリート下地	△											
—	多目的トイレ	F 4	△	△	—	——		SW 3	モルタル木コテ CB下地	陶器質100角タイル張	W 4	——	コンクリート打放シ補修 NAD塗	C 3	△	△	塩ビ	2, 500	○ ビクト サイン	ベビーチェア（機械設備工事） ベビーシート（機械設備工事） フィッティングボード（機械設備工事）	
								SW 4	モルタル木コテ コンクリート下地	△											
—	EV		コンクリート金コテ押工	ケイ酸質系塗布防水塗 （C-U I）		ケイ酸質系塗布防水塗 （C-U I）		—	——	——		——	——		——	——	——	——	○ ビクト サイン		
2	—	ホール	F 2	モルタル金コテ押工	ビニル床シートア2. 0張	BB 2	ビニル巾木	60	—	——	——	W 1	LGS下地	ビニルクロス張 PBア12. 5	C 1	LGS下地	化粧PBア9. 5張	塩ビ	2, 700		床見切、下足入、BB、ブラインド
											W 2	遮音壁（スラブまで）	ビニルクロス張								
	—	大会議室	F 5	セルフレバリング	複合フローリングア12張	BB 3	木製巾木 CL塗	60	—	——	——	W 1	LGS下地	ビニルクロス張 PBア12. 5	C 2	△	化粧吸音PBア9. 5張	塩ビ	2, 700	○	壁面鏡、BB、ブラインド
												W 2	遮音壁（スラブまで）	ビニルクロス張							
—	小会議室	F 2	モルタル金コテ押工	ビニル床シートア2. 0張	BB 2	ビニル巾木	60	—	——	——	W 1	LGS下地	ビニルクロス張 PBア12. 5	C 2	△	△	塩ビ	2, 700	○	BB、ブラインド	
—	収納庫	F 2	△	△	BB 2	△	60	—	——	——	W 1	△	△								
共通	—	階段室	F 2	△	△	BB 2	△		—	——	——	W 1	△	△	C 1	△	△	塩ビ	2, 700		
												W 5	コンクリート下地	ビニルクロス張 PBア12. 5（GL工法）							

内 部 仕 上 表 【 サ ッ カ ー ゴ ー ル 等 収 納 庫 】 【 陸 上 器 具 庫 】																					
階	内装制限	室 名	床			巾 木			腰 壁			壁			天 井				CH	室名札	備 考
			記号	下 地	仕 上	記号	仕 上	H	記号	下 地	仕 上	記号	下 地	仕 上	記号	下 地	仕 上	廻縁			
1	—	サッカーゴール等収納庫 陸上器具庫	F10	土間コンクリート 金コテ押工 カッター切@3000内外	防塵用工ボキシ樹脂塗床材 (防滑仕上)	BB10	塗床材同仕上 (平滑)	330 ~ 350	—	——	——	W10	——	外壁材表シ 鉄骨柱・鉄骨壁下地面 溶融亜鉛メッキ	C10	——	屋根材表シ 鉄骨梁面 溶融亜鉛メッキ	—	—	—	

内 部 仕 上 表 【 写 真 判 定 棟 】																					
階	内装制限	室 名	床			巾 木			腰 壁			壁			天 井				CH	室名札	備 考
			記号	下 地	仕 上	記号	仕 上	H	記号	下 地	仕 上	記号	下 地	仕 上	記号	下 地	仕 上	廻縁			
1	—	倉庫	F 2 0	土間コンクリート 金コテ押工 カッター切@3000内外	防塵用工ボキシ樹脂塗床材 (防滑仕上)	BB 2 0	塗床材同仕上 (平滑)	330 ~ 350	—	——	——	W20	——	外壁材表シ 鉄骨柱・鉄骨壁下地面 溶融亜鉛メッキ	C 2 0	——	デッキ表シ 鉄骨表シ 溶融亜鉛メッキ	—	—		
												W22	△	PBア12. 5 EP塗							
—		物入1	F 2 1	土間コンクリート 金コテ押工	防塵用工ボキシ樹脂塗床材 (防滑仕上)	BB 2 0	塗床材同仕上 (平滑)	330 ~ 350	—	——	——	W20	△	△	C 2 1	LGS下地	化粧PBア9. 5張	塩ビ	2, 400	○	
															C 2 2		上裏表シ 鉄骨表シ 溶融亜鉛メッキ	—	—		
2	—	写真判定室・ 記録室	F 2 2	コンクリート金コテ押工	ビニル床シートア2. 0張	BB 2 1	ビニル巾木	60	—	——	——	W 2 1	LGS下地	ビニルクロス張 PBア12. 5	C 2 1	LGS下地	化粧PBア9. 5張	塩ビ	2, 400	○	床見切、下足入、BB、ブラインド
		物入2	F 2 2	△	△	BB 2 1	△	60	—	——	——	W 2 1	△	△							
共通	—	階段室	F 2 3	モルタル金コテ押工	△	BB 2 2	ササrah		—	——	——	W 2 2	△	PBア12. 5 EP塗	C 2 1	△	△	塩ビ	2, 400		

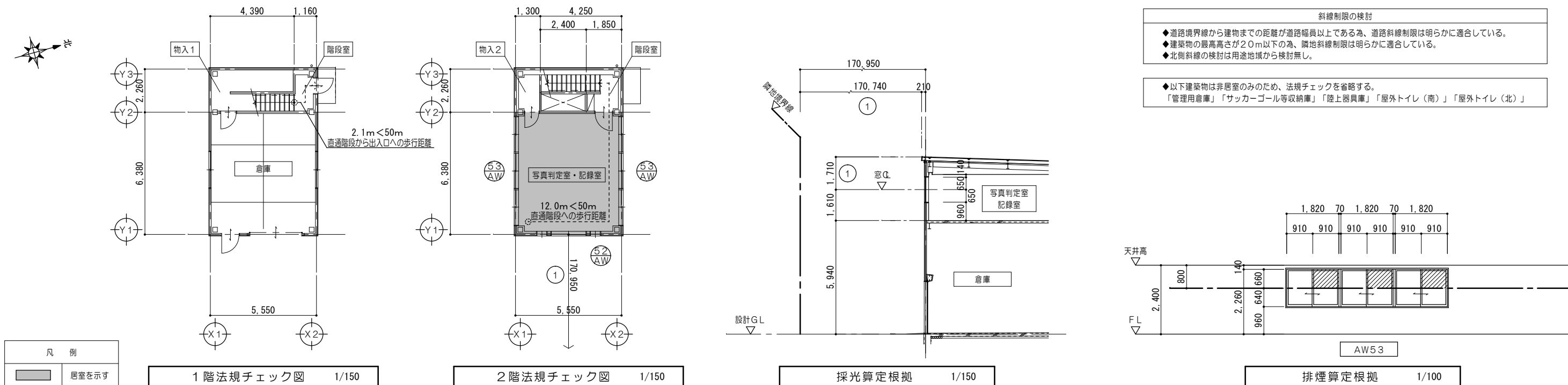
特 記 事 項											MAKINO 株式 会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝		設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子		設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早紀		設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作		設計担当		法適合確認		作図 加藤 前田 監理 三橋 輝野		工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事				設計日	
【共通】内部仕上表No. 2																			縮 尺 A2: NS A3: NS		図面番号 A021 (原図: A2)										

特 記 事 項	 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式 会社 前野建築設計		代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称	設計日
	株 式 会 社		一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作			加藤 隆徳	海浜公園内陸上競技場改修工事	
	管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝		前野 将輝	三橋 五百子	加藤 早妃	前田 祐作			縮 尺 A2:1/200 A3:1/282	図面名称 【共通】建物面積求積図・各室求積図・各室求積表	図面番号 A022 (原図:A2)
									図 原 三橋 輝		



◆令129条の四より 耐火建築物かつ客席≤400㎡のため内装制限は受けない。

法 規 チェ ッ ク リ ス ト 【 管 理 棟 】																
			採 光 算 定 表					換 気 算 定 表					排 煙 算 定 表			
階	室 名	室面積 (㎡)	必要採光面積 (㎡)	窓記号	窓の種類	有効採光面積 (小数点3位切り捨て)	市街化区域(第一種住居地域) D/H×6-1. 4	判 定	必要換気面積 (㎡)	窓記号	有効換気面積 (小数点3位切り捨て)	判 定	必要排煙面積 (㎡)	窓記号	有効排煙面積 (小数点3位切り捨て)	判 定
			室面積×係数 (小数点3位切り上げ)						室面積×係数 (小数点3位切り上げ)				室面積×係数 (小数点3位切り上げ)			
1	エントランスホール 休憩スペース	60.00	60.00 × 1/20 = 3.00	AW2	引違い窓	2.03×1.56×2×1=6.33 ■6.33×3(採光補正係数)=18.99	①135.92/6.44×6-1.4=125.23 →3.0(算定値)	OK	60.00 × 1/20 = 3.00	AW2	1.015×1.56×2×1=3.16	OK	60.00 × 1/50 = 1.20	AW2	1.015×0.76×2×1=1.54	OK
	事務室	48.00	48.00 × 1/20 = 2.40	AW1	引違い窓	2.03×1.56×1×2=6.33 ■6.33×3(採光補正係数)=18.99	②53.85/6.52×6-1.4=48.15 →3.0(算定値)	OK	48.00 × 1/20 = 2.40	AW1	1.015×1.56×1×2=3.16	OK	48.00 × 1/50 = 0.96	AW1	1.015×0.80×1×2=1.62	OK
							③135.92/6.52×6-1.4=123.67 →3.0(算定値)									
	休憩室	15.00	15.00 × 1/20 = 0.75	AW1a	引違い窓	2.03×1.21×1×1=2.45 ■2.45×3(採光補正係数)=7.35	④46.77/6.52×6-1.4=41.63 →3.0(算定値)	OK	15.00 × 1/20 = 0.75	AW1a	1.015×1.21×1×1=1.22	OK	15.00 × 1/50 = 0.30	AW1a	1.015×0.80×1×1=0.81	OK
2	大会議室	118.41	118.41 × 1/20 = 5.93	AW3	引違い窓	2.03×1.56×3×4=38.00 ■38.00×3(採光補正係数)=114.00	⑤53.85/2.44×6-1.4=131.01 →3.0(算定値)	OK	118.41 × 1/20 = 5.93	AW3	1.015×1.56×3×4=19.00	OK	118.41 × 1/50 = 2.37	AW3	1.015×0.76×3×4=9.25	OK
	小会議室	42.00	42.00 × 1/20 = 2.10	AW3	引違い窓	2.03×1.56×3×1=9.50 ■9.50×3(採光補正係数)=28.50	⑥135.92/2.44×6-1.4=332.82 →3.0(算定値)	OK	42.00 × 1/20 = 2.10	AW3	1.015×1.56×3×1=4.75	OK	42.00 × 1/50 = 0.84	AW3	1.015×0.76×3×1=2.31	OK



法 規 チェ ッ ク リ ス ト 【 写 真 判 定 棟 】																
			採 光 算 定 表						換 気 算 定 表				排 煙 算 定 表			
階	室 名	室面積 (㎡)	必要採光面積 (㎡)	窓記号	窓の種類	有効採光面積 (小数点3位切り捨て)	市街化区域（第一種住居地域） D/H×6-1.4	判 定	必要換気面積 (㎡)	窓記号	有効換気面積 (小数点3位切り捨て)	判 定	必要排煙面積 (㎡)	窓記号	有効排煙面積 (小数点3位切り捨て)	判 定
			室面積×係数 (小数点3位切り上げ)						室面積×係数 (小数点3位切り上げ)				必要排煙面積 (㎡)			
2	写真判定室 記録室	35.41	35.41 × 1/20 = 1.78	AW52	引違い窓	1.82×1.3=2.36 ■2.36×3（採光補正係数）=7.08	① 170.74/1.71×6-1.4=597.68 →3.0（算定値）	OK	35.41 × 1/20 = 1.78	AW53	0.91×1.30×3×2=7.09	OK	35.41 × 1/50 = 0.71	AW53	0.91×0.66×3×2=3.60	OK

消 防 無 窓 階 の 検 討

【 管 理 棟 】

1階 必要面積	有効面積		数	小計	判定	2階 必要面積	有効面積		数	小計	判定
224.00×1/30 =7.47	AD4	0.90 × 2.00 × 1 =1.80	1か所	1.80	OK	224.00×1/30 =7.47	AW3	(2.03/2-0.04) × 1.56 × 3 =4.56	3か所	13.68	OK
	AW1	(2.03/2-0.04) × 1.56 × 1 =1.52	2か所	3.04							
	AW2	(2.03/2-0.04) × 1.56 × 2 =3.04	1か所	3.04							
	Total		7.88					Total		13.68	

【 写 真 判 定 棟 】

1階 必要面積	有効面積		数	小計	判定	2階 必要面積	有効面積		数	小計	判定
47.95×1/30 =1.60	AD51	0.80 × 2.00 × 1 =1.80	1か所	1.60	OK	47.95×1/30 =1.60	AW53	(1.84/2-0.04) × 1.30 × 3 =3.43	1か所	3.43	OK
	SS51	2.70 × 2.50 × 1 =6.75	1か所	6.75							
	Total		8.35					Total		3.43	

【 スタンド棟 】

1階 必要面積	有効面積		数	小計	判定	2階 必要面積	有効面積		数	小計	判定
253.85×1/30 =8.47	AW82	(1.85/2-0.04) × 1.90 × 1 =1.68	1か所	1.68	OK	314.41×1/30 =10.49					OK
	SD71	(1.76-0.1×2) × 1.90 × 1 =2.96	1か所	2.96							
	SD72	(1.50-0.1×2) × 1.90 × 1 =2.47	2か所	4.94							
	Total		9.58					2階部分は開放されているため、有窓階と判定する。			

【 管 理 用 倉 庫 】

1階 必要面積	有効面積		数	小計	判定
54.00×1/30 =1.80	AD21	0.80 × 2.00 × 1 =1.80	1か所	1.60	OK
	SS21	4.00 × 2.20 × 1 =8.80	1か所	8.80	
	Total		10.40		

【 サ ッ カ ー ゴ ー ル 等 収 納 庫 】

1階 必要面積	有効面積		数	小計	判定
234.00×1/30 =7.80	AD31	0.80 × 2.00 × 1 =1.80	1か所	1.60	OK
	SS31	5.53 × 3.65 × 1 =20.18	1か所	20.18	
	Total		21.78		

【 陸 上 器 具 庫 】

1階 必要面積	有効面積		数	小計	判定
300.00×1/30 =10.00	AD41	0.80 × 2.00 × 1 =1.80	1か所	1.60	OK
	SS41	5.53 × 3.65 × 1 =20.18	1か所	20.18	
	Total		21.78		

棟（階）の収容人数算定表

【 管 理 棟 】

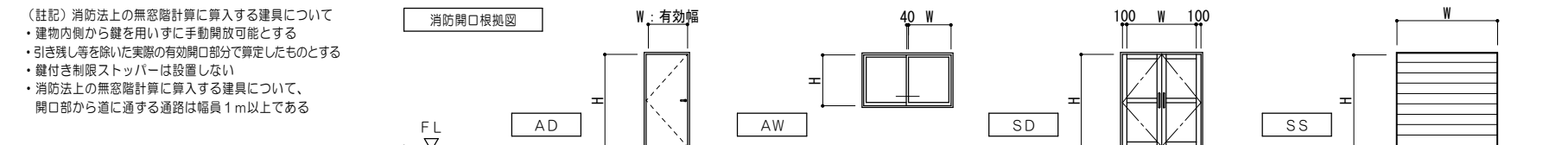
階	室名	人数	階	室名	人数
1	事務室	従業員数 4人	2	大会議室	118.41÷0.5= 237人
				小会議室	42.00÷0.5= 84人
	Total	4人		Total	321人

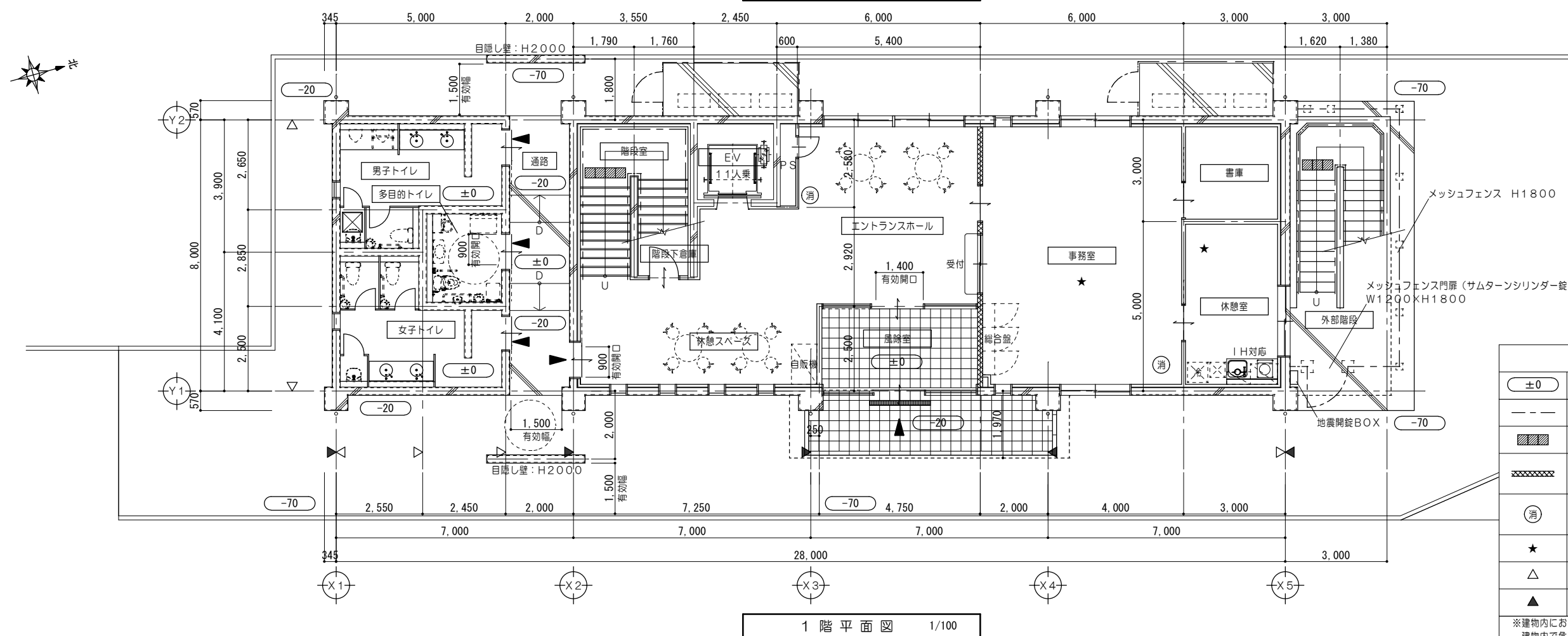
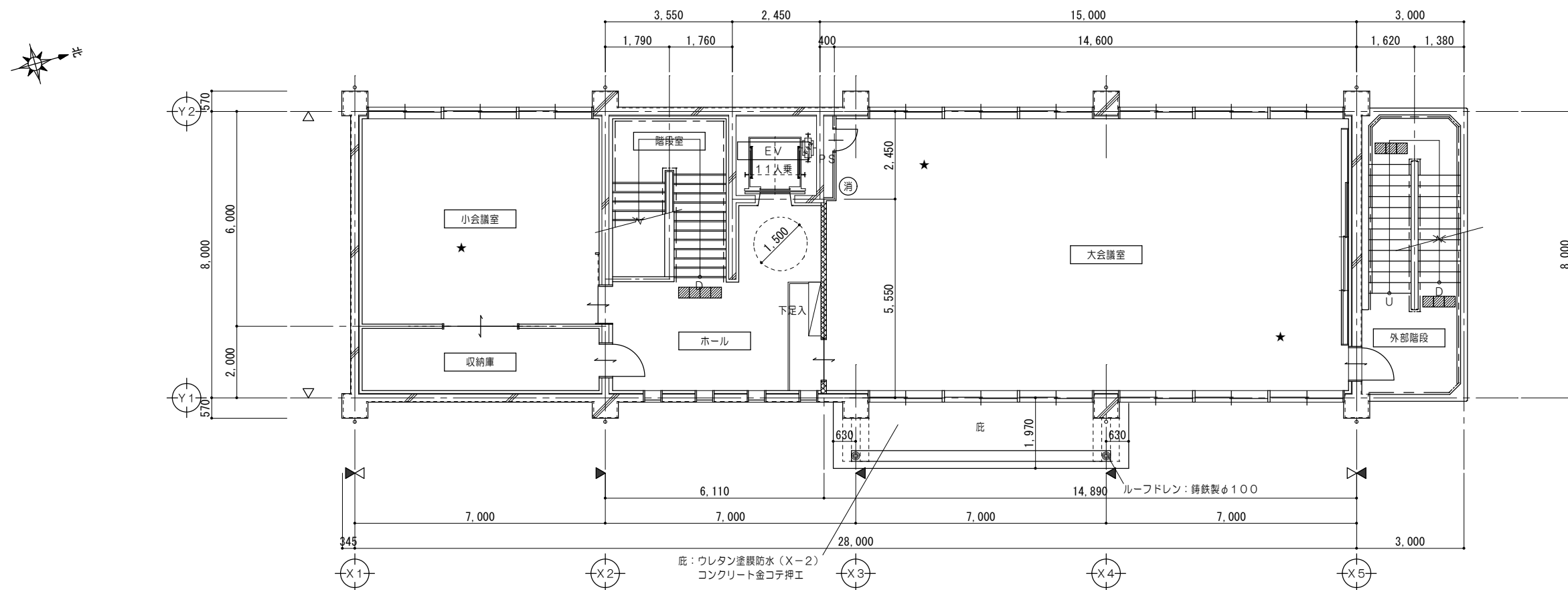
【 写 真 判 定 棟 】

階	室名	人数	階	室名	人数
1			2	写真判定室 記録室	35.41÷3.0= 12人
	Total	0人		Total	12人

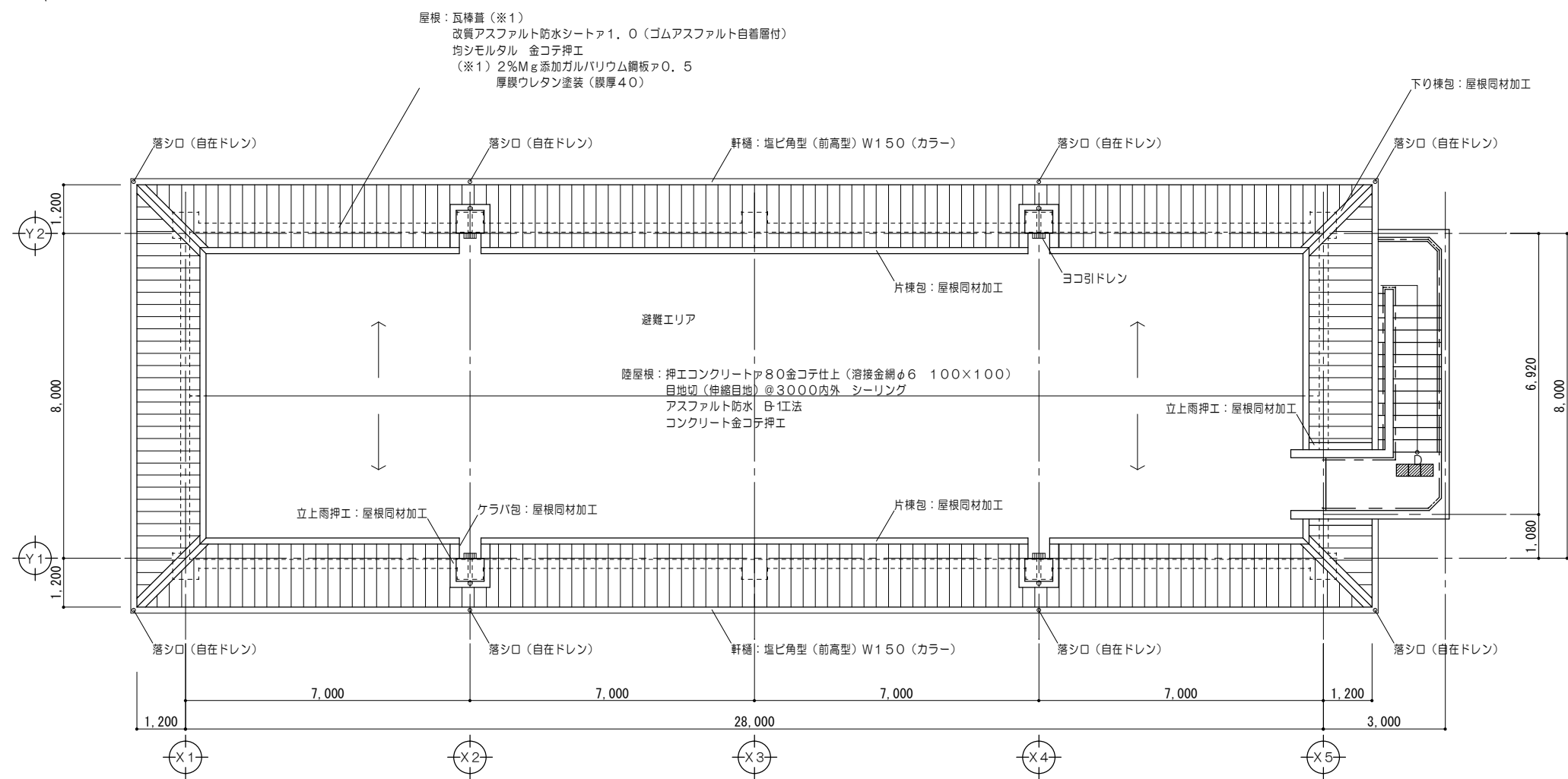
【 スタンド棟 】

階	室名	人数	階	室名	人数
1	事務室	49.74÷0.5= 100人	2	観覧場	固定式イス1脚あたり 1.80÷0.40= 4人 (小数点以下切り捨て) 4人×140脚= 560人
	多目的室1	36.78÷0.5= 74人			
	多目的室2	36.78÷3.0= 74人			
	Total	248人		Total	560人

[illegible]



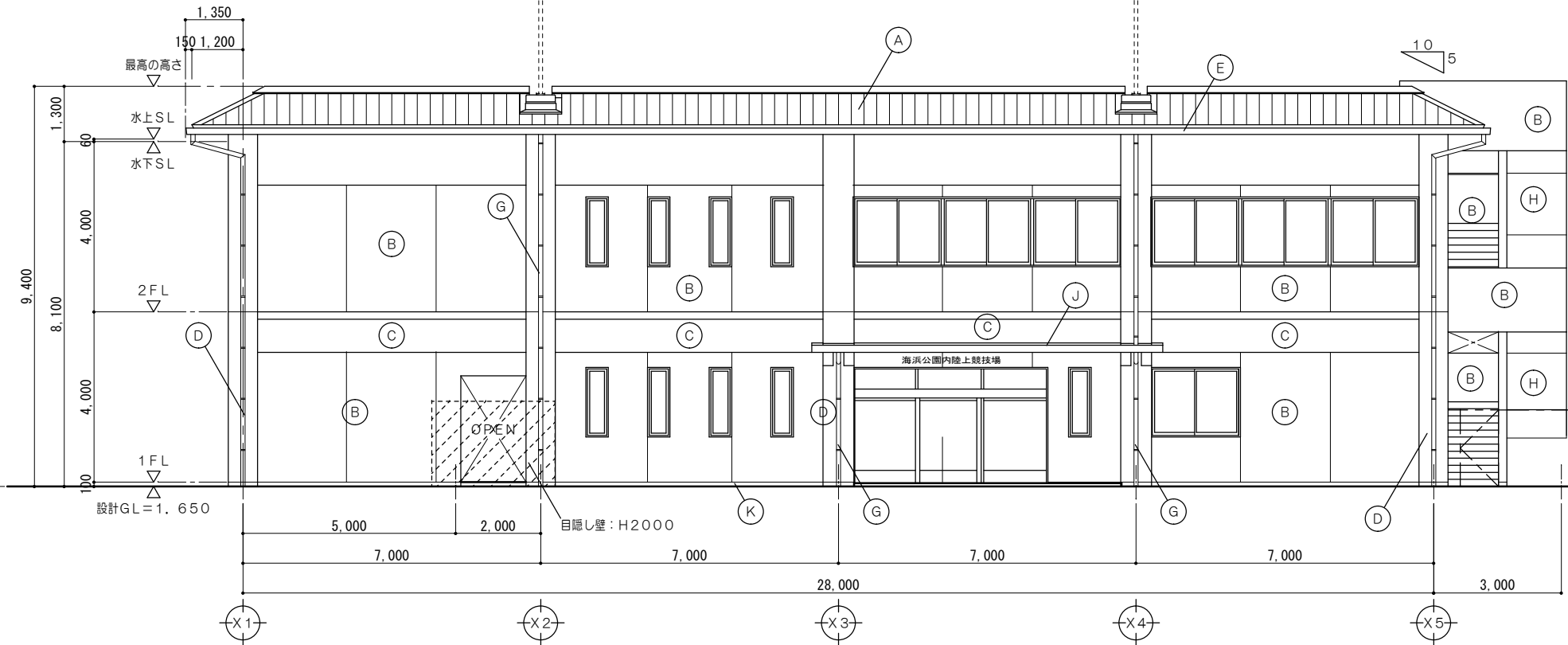
凡 例	
± 0	一般F.L.からの床仕上高さを示す (特記なき限りはF.L.±0とする)
— — —	手すり(壁面より出100以下とする)
	点字板を示す
	遮音壁(スラブまで)を示す 強化PBA12.5+強化PBA12.5(両面) LGS下地 GW24K ャ50
	消火器(ABC粉末10型) ※消防用設備等については、 消防法施行令及び同規則の通り設置する。
★	室内空気汚染物質測定箇所を示す
△	壁芯を示す
▲	柱芯を示す
※建物内において火気使用なし。 建物内で危険物・指定可燃物の貯蔵及び取扱いなし。 飲料の保管はなし。	



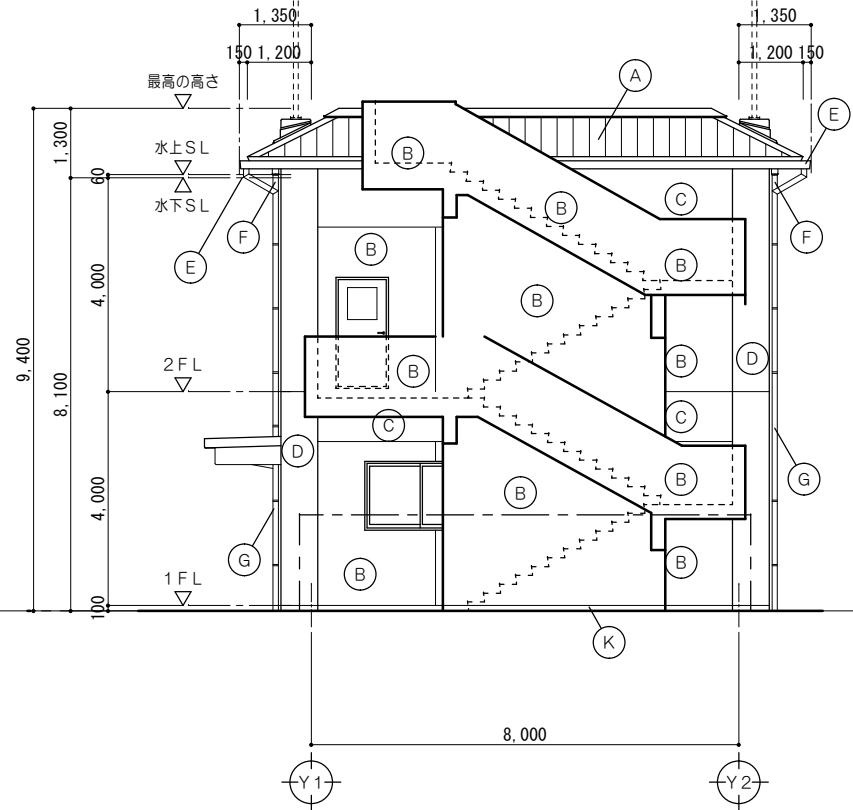
屋根伏図 1/100

特 記 事 項					株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称	設計日
	加藤 輝 三橋 輝	海浜公園内陸上競技場改修工事												
	縮尺	図面名称	図面番号											
	A2: 1/100 A3: 1/141	【①管理棟】屋根伏図	A026 (原図:A2)											

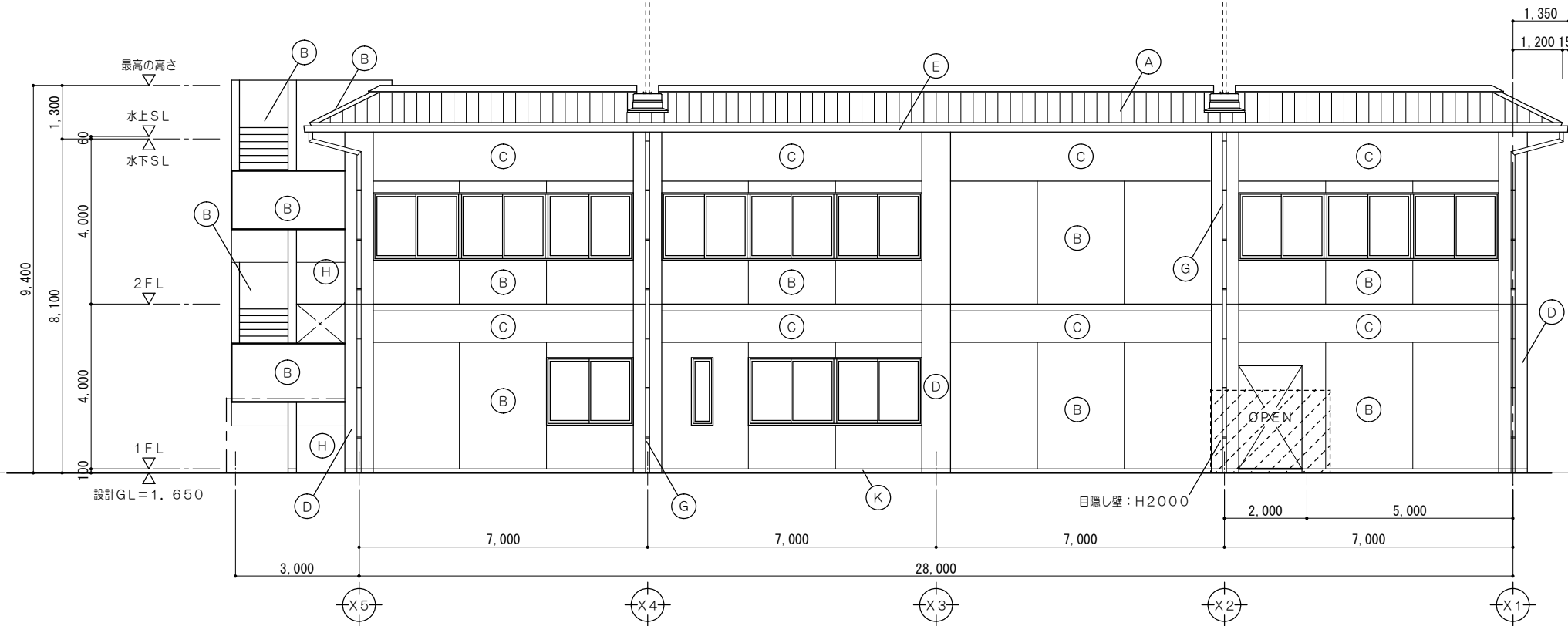
凡 例					
(A)	屋 根：瓦棒葺	(E)	軒 樋：塩ビ角型（前高型）W150（カラー） 落シ口（自在ドレン）	(J)	庇：ウレタン塗膜防水（X-2） コンクリート打放シ補修
(B)	外 壁：複層塗材E吹付 コンクリート打放シ補修	(F)	掃除口：硬質塩化ビニル管（カラー）φ100用	(K)	根廻り：撥水性防水材料塗布 コンクリート打放シ補修 誘発目地φ3000
(C)	梁 型：複層塗材E吹付 コンクリート打放シ補修	(G)	タテ樋：硬質塩化ビニル管φ100（カラー） 支持金物 ステンレス製φ1000内外		
(D)	柱 型：複層塗材E吹付 コンクリート打放シ補修	(H)	上 裏：外装珪藻材E吹付 コンクリート打放シ補修		



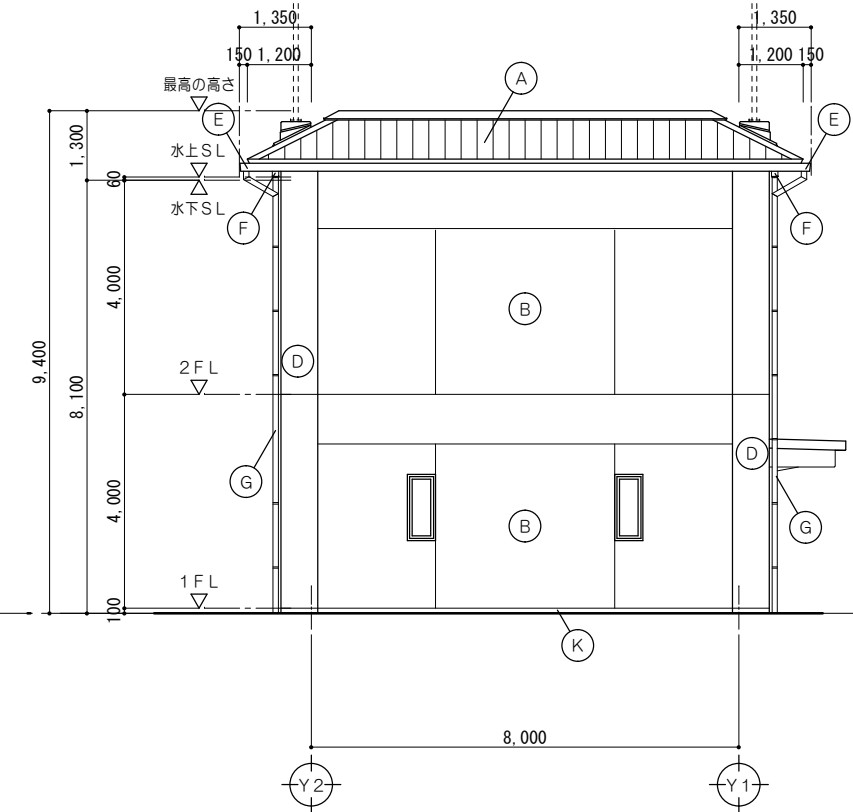
東面立面図 1/100



北面立面図 1/100



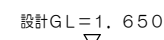
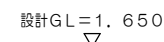
西面立面図 1/100



南面立面図 1/100

特 記 事 項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号				代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称	設計日
	株式会社 前野建築設計				一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作			加藤 早妃	海浜公園内陸上競技場改修工事	
	管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝										三橋 五百子	図面名称	縮 尺
											三橋 五百子	【①管理棟】立面図	A2:1/100 A3:1/141

図面番号
A027
(原図:A2)



断面図 1/100

特 記 事 項				MAIRO 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図 加藤 将輝	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事	設計日
					一級建築士 第320204号	一級建築士 第307846号	一級建築士 第378328号	一級建築士 第360917号			縮 尺 A2:1/100 A3:1/141	図面番号 AQ28 (原図:A2)	
					前野 将輝	三橋 五百子	加藤 早妃	前田 祐作					
					前野 将輝	三橋 五百子	加藤 早妃	前田 祐作					